

[様式6]

財団法人 大学基準協会

2010（平成22）年度「大学評価」申請用
大学基礎データ（様式）

※ 2010（平成22）年度に「大学評価」を申請する大学は必ず本様式を使用してください。

長 浜 バ イ オ 大 学

大学基礎データ作成上の注意事項

- 1 「大学基礎データ」は、原則として「大学評価」申請**前年度**の5月1日現在のデータで作成してください。ただし、各表の注において作成年に関する指示がある場合は、その指示に従って作成してください。
本様式は、2010（平成22）年度申請用に作成していますので、特に注記がない場合、2009（平成21）年5月1日が作成標準日となります。
- 2 「大学基礎データ」は、A4判で作成してください。全体に通しページを付し、目次を作成してください。
- 3 表紙には、申請年度と大学名を明記してください。
- 4 専任教員に関するデータの作表にあたっては、「IV 教員組織 1 全学の教員組織（表19）」を基本とし、同表に専任として記載した学部、大学院研究科等ごとにその後の表を作成してください。
- 5 「IV 教員組織 2 専任教員個別表（表20）」が大部になる場合は、「大学基礎データ」と別冊にしても結構です。
- 6 「専任教員の教育・研究業績」については大学・学部等の固有の業績一覧の提出を原則とします。大学で固有の業績一覧を作成していない場合は、本「大学基礎データ（様式）」の（表24）および（表25）を参考に作表してください。
また、この業績一覧は、「大学基礎データ」とは別冊にしてください。
- 7 各表に記入する数値について小数点以下の端数が出る場合、特に指示のない限り小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示してください。
- 8 該当しない表がある場合は、その表のタイトルと表番号のみを記入し、「該当なし」と注記してください。なお、作成しない表があっても各表の右上に付された表番号は変更しないでください。
【例】 「7 国家試験合格率（表9）」
 該当なし
- 9 各表において、記入すべき数値が無い場合は、空欄とせず、「-」（ハイフン）を記入してください。
- 10 各表に付されている脚注は消去しないでください。

なお、本「大学基礎データ」（様式）は、大学基準協会のホームページ（<http://www.juaa.or.jp>）から入手できます。

目 次

I 教育研究組織

- | | | |
|---|---------------------------------------|---|
| 1 | (表1) 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2009年5月1日現在) | 1 |
| 2 | (表2) 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2010年4月1日現在) | 2 |

II 教育内容・方法等

- | | | |
|----|---------------------------------|----|
| 1 | (表3) 開設授業科目における専兼比率 | 3 |
| 2 | (表4) 単位互換協定に基づく単位認定の状況 | 8 |
| 3 | (表5) 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況 | 9 |
| 4 | (表6) 卒業判定 | 10 |
| 5 | (表7) 大学院における学位授与状況 | 11 |
| 6 | (表8) 就職・大学院進学状況 | 12 |
| 7 | (表9) 国家試験合格率 | 13 |
| 8 | (表10) 公開講座の開設状況 | 14 |
| 9 | (表11) 学生の国別国際交流 | 15 |
| 10 | (表12) 教員・研究者の国際学術研究交流 | 16 |

III 学生の受け入れ

- | | | |
|---|--------------------------------|----|
| 1 | (表13) 学部・学科の志願者・合格者・入学者の推移 | 17 |
| 2 | (表14) 学部・学科の学生定員及び在籍学生数 | 22 |
| 3 | (表15) 学部の入学者の構成 | 23 |
| 4 | (表17) 学部・学科の退学者数 | 24 |
| 5 | (表18) 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数 | 25 |
| 6 | (表18-2) 法科大学院の学生定員及び在籍学生数 | 26 |
| 7 | (表18-3) 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移 | 27 |
| 8 | (表18-4) 法科大学院の志願者・合格者・入学者数の推移 | 31 |

IV 教員組織

- | | | |
|-----|---------------------------------|----|
| 1-1 | (表19) 全学の教員組織 | 32 |
| 1-2 | (表19-2) 学部の教員組織 | 33 |
| 1-3 | (表19-3) 大学院研究科の教員組織 (専門職大学院を除く) | 34 |
| 1-4 | (表19-4) 専門職大学院の教員組織 | 35 |
| 1-5 | (表19-5) 事務組織 | 36 |
| 2 | (表20) 専任教員個別表 | 37 |
| 3 | (表21) 専任教員年齢構成 | 53 |
| 4 | (表22) 専任教員の担当授業時間 | 54 |
| 5 | (表23) 専任教員の給与 | 56 |

V 研究環境		
1	(表24) 専任教員の教育・研究業績	(別冊子)
2	(表25) 専任教員の教育・研究業績 (芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員)	57
3	(表29) 専任教員の研究費 (実績)	58
4	(表30) 専任教員の研究旅費	59
5	(表31) 学内共同研究費	60
6	(表32) 教員研究費内訳	61
7	(表33) 科学研究費の採択状況	63
8	(表34) 学外からの研究費の総額と一人当たりの額	64
9	(表35) 教員研究室	65
VI 施設・設備等		
1	(表36) 校地、校舎、講義室・演習室等の面積	66
2	(表36-2) 主要施設の概況	67
3	(表37) 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模	68
4	(表38) 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模	69
5	(表40) 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表	71
VII 図書・電子媒体		
1	(表41) 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況	74
2	(表42) 図書館利用状況	75
3	(表43) 学生閲覧室等	76
VIII 学生生活		
1	(表44) 奨学金給付・貸与状況	77
2	(表45) 学生相談室利用状況	78
IX 財務 (私立大学のみ)		
1-1	(表46) 消費収支計算書関係比率 (法人全体のもの)	79
1-2	(表46-2) 消費収支計算書関係比率 (大学単独のもの)	80
2	(表47) 貸借対照表関係比率	81
X 情報公開・説明責任		
1	(表48) 財政公開状況 (私立大学のみ)	82
2	(表48-2) 財政公開状況 (公立大学法人のみ)	84

I 教育研究組織

1 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2009年5月1日現在）

(表1)

名 称	開設年月日	所 在 地	備 考
長浜バイオ大学・バイオサイエンス学部・バイオサイエンス学科	2003年4月1日	滋賀県長浜市田村町1266番地	
長浜バイオ大学・バイオサイエンス学部・アニマルバイオサイエンス学科	2009年4月1日	同 上	2008年6月26日設置届出
長浜バイオ大学・バイオサイエンス学部・コンピュータバイオサイエンス学科	2009年4月1日	同 上	2008年6月26日設置届出
長浜バイオ大学院・バイオサイエンス研究科・バイオサイエンス専攻博士課程前期課程	2007年4月1日	同 上	
長浜バイオ大学院・バイオサイエンス研究科・バイオサイエンス専攻博士課程後期課程	2007年4月1日	同 上	

[注] 1 学部・学科、大学院研究科・専攻、研究所等ごとに記載してください。

2 当該学部、研究科の開設が届出による場合は、備考欄にその旨記載してください。

3 当該研究科もしくは専攻が専門職大学院である場合は、備考欄にその旨記載してください。

4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、学部にならない記載してください。

5 通信教育課程、専攻科、別科等があれば、これも記載してください。

2 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2010年4月1日現在）

（表2）

学部、大学院研究科等	学科、専攻の名称	収容定員(名)	所在地	備考
	バイオサイエンス学科	700	滋賀県長浜市田村町1266番地	2009年4月入学定員変更
	アニマルバイオサイエンス学科	100	同上	2009年4月受け入れ開始
	コンピュータバイオサイエンス学科	80	同上	2009年4月受け入れ開始
	バイオサイエンス専攻博士課程前期課程	60	滋賀県長浜市田村町1266番地	
	バイオサイエンス専攻博士課程後期課程	15	同上	2007年4月受け入れ開始
		(955)		

- [注] 1 申請年（2010年）4月1日付で設置している学部・学科、研究科・専攻を記入してください（募集停止しているものを含まず）。
- 2 通信教育課程があれば、これも記載してください。
- 3 申請年度（2010年度）から学生受け入れを開始、名称を変更した学部・学科、研究科・専攻名は、備考欄にその旨を付記してください。
- 4 学生募集を停止している学部・学科、研究科・専攻名には、備考欄にその旨を付記してください。
- 5 専門職大学院は、該当する研究科・専攻名に、（専門職）と付記してください。
- 6 申請年4月時に完成年度に達していない学部・学科、研究科・専攻には（※1）を、申請資格充足年度（完成年度+1年）を経していない学部・学科、研究科・専攻には（※2）を付記し、備考欄に学生受け入れ年月を記入してください。
- 7 収容定員は、入学定員を変更している場合、編入学を実施している場合、完成年度に達していない場合、学生募集を停止している場合など、「現在の入学定員×標準修業年限」では算出できませんので注意してください。
- 8 現在、文部科学省に設置申請中の学部・学科、大学院研究科・専攻・課程（修士・博士）がある場合は、記載してください。

II 教育研究の内容・方法等

1 開設授業科目における専兼比率

(1) 3回生以下配当科目

(通年)

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
バイオサイエンス学部	バイオサイエンス学科	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	29.0	36.0	69.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	5.0	5.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	87.8	93.2
		一般教育科目	専任担当科目数 (A)	5.4	4.6	11.0
			兼任担当科目数 (B)	10.6	15.4	26.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	33.8	23.0	29.7
	アニマルバイオサイエンス学科 ※[大学注]	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	8.0	2.0	11.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	1.0	1.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	66.7	91.7
		一般教育科目	専任担当科目数 (A)	4.4	4.0	9.4
			兼任担当科目数 (B)	6.6	10.0	16.6
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	40.0	28.6	36.2
	コンピュータバイオサイエンス学科 ※[大学注]	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	7.0	3.0	12.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	1.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	100.0	92.3
一般教育科目		専任担当科目数 (A)	4.4	4.0	9.4	
		兼任担当科目数 (B)	6.6	10.0	16.6	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	40.0	28.6	36.2	

(前期)

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
バイオサイエンス 学部	バイオサイエンス 学科	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	16.0	15.0	32.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	0.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	100.0	100.0
		一般教育科目	専任担当科目数 (A)	5.2	1.3	7.5
			兼任担当科目数 (B)	5.8	9.7	15.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	47.3	11.8	32.6
	アニマルバイオ サイエンス学科 ※[大学注]	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	0.0	1.0	1.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	0.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0	100.0	100.0
		一般教育科目	専任担当科目数 (A)	4.2	2.0	7.2
			兼任担当科目数 (B)	3.8	6.0	9.8
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	52.5	25.0	42.4
	コンピュータバイオ サイエンス学科 ※[大学注]	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	1.0	1.0	2.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	0.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	100.0	100.0
一般教育科目		専任担当科目数 (A)	4.2	2.0	7.2	
		兼任担当科目数 (B)	3.8	6.0	9.8	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	52.5	25.0	42.4	

(後期)

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
バイオサイエンス学部	バイオサイエンス学科	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	15.0	21.0	40.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	5.0	5.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	80.8	88.9
		一般教育科目	専任担当科目数 (A)	0.2	3.3	3.5
			兼任担当科目数 (B)	4.8	5.7	10.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	4.0	36.7	25.0
	アニマルバイオサイエンス学科 ※[大学注]	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	8.0	1.0	10.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	1.0	1.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	50.0	90.9
		一般教育科目	専任担当科目数 (A)	0.2	2.0	2.2
			兼任担当科目数 (B)	2.8	4.0	6.8
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	6.7	33.3	24.4
	コンピュータバイオサイエンス学科 ※[大学注]	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	6.0	2.0	11.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	1.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	100.0	91.7
一般教育科目		専任担当科目数 (A)	0.2	2.0	2.2	
		兼任担当科目数 (B)	2.8	4.0	6.8	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	6.7	33.3	24.4	

(2) 4回生以上配当科目

(通年)

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
バイオサイエンス 学部	バイオサイエンス 学科	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	32.0	33.0	66.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	3.0	3.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	91.7	95.7
		一般教育科目	専任担当科目数 (A)	5.4	7.6	13.0
			兼任担当科目数 (B)	10.6	17.4	28.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	33.8	30.4	31.7

(前期)

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
バイオサイエンス 学部	バイオサイエンス 学科	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	18.0	14.0	33.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	0.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	100.0	100.0
		一般教育科目	専任担当科目数 (A)	4.2	3.3	7.5
			兼任担当科目数 (B)	4.8	10.7	15.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	46.7	23.6	32.6

(後期)

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
バイオサイエンス 学部	バイオサイエンス 学科	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	16.0	19.0	36.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	3.0	3.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	86.4	92.3
		一般教育科目	専任担当科目数 (A)	1.2	4.3	5.5
			兼任担当科目数 (B)	5.8	6.7	12.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	17.1	39.1	30.6

- [注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼任科目も含めてください。
- 3 カリキュラムを改定した場合は、改定前・後、それぞれ分けて作表してください。
- 4 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。
- 5 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 6 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表してください。
- 7 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。
- ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。
- ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。
- 8 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください。
(例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります)。

[大学注] アニマルバイオサイエンス学科およびコンピュータバイオサイエンス学科は2009年度開設のため、今年度の開講している科目についてのみ記載。

2 単位互換協定に基づく単位認定の状況

(表4)

学 部 ・ 学 科		認定者数 (A)	他大学		短期大学		1人当たり 平均認定 単位数 (B+C) / A
			認定単位総数 (B)		認定単位総数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
バイオサイエンス学部	バイオサイエンス学科	10	0	26	0	0	2.6
計		10	0	26	0	0	2.6
合 計		10	0	26	0	0	2.6

- [注] 1 他大学または短期大学との単位互換協定に基づき単位認定を行っているものを記載してください。
 2 2008年度の実績を記入してください。

3 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況

(表5)

学部・学科		認定者数 (A)	大学・短大・高専等		その他		1人当たり平均 認定単位数 (B+C) / A
			認定単位数 (B)		認定単位数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
バイオサイエンス学部	バイオサイエンス学科	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	0	0	0

- [注] 1 原則として、大学設置基準第29条及び第30条で規定された「大学以外の教育施設等における学修」と「入学前の既修得単位等の認定」に該当するものを記載してください。
ただし、上記には該当しないものの、単位互換協定以外で学生が国内外の大学において履修した授業科目の単位を自大学の単位として認定している場合は、本表の「大学・短大・高専等」欄に含めてください。
- 2 「大学・短大・高専等」欄には、大学、短期大学または高等専門学校の特攻科における学修を、「その他」欄には、「大学設置基準第29条第1項の規定により、大学が単位を与えることのできる学修を定める件」（平成19年文部科学省告示第146号）に定められた学修を記載してください。
- 3 2008年度の実績を記入してください。
- 4 編入学生については、本表に含めないでください。

4 卒業判定

(表6)

学部・学科		2006年度			2007年度			2008年度		
		卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100
バイオサイエンス学部	バイオサイエンス学科	280	274	97.9	211	198	93.8	235	218	92.8
計		280	274	97.9	211	198	93.8	235	218	92.8

[注] 「卒業予定者」とは、毎年度5月1日における当該学部の最終学年に在籍する学生を指します。

5 大学院における学位授与状況

(表7)

研究科・専攻			2004年度		2005年度		2006年度		2007年度		2008年度		備考
			修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	
バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻	修士 博士(前期)	—	—	—	—	—	—	0	0	30	28	
		博士(課程)	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	2007年4月1日開設
		博士(論文)	/	—	/	—	/	—	/	0	/	0	
		専門職学位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

[注] 1 「修了予定者」欄には、留年者も含め、当該年度修了予定の在籍学生数を記入してください。

2 当該研究科もしくは専攻、課程が最近開設され、そのために学位授与該当者がいない場合は、備考欄にその開設年月日を記載してください。

6 就職・大学院進学状況

(表8)

学 部	進 路		2006年度	2007年度	2008年度
長浜バイオ大学 バイオサイエンス学科	就職	民間企業	169	113	127
		官公庁	1	1	3
		教員	0	0	0
		上記以外	13	3	6
	進学	自大学院	33	49	31
		他大学院	48	26	35
		上記以外	2	3	3
	そ の 他		8	3	13
	合 計		274	198	218

- [注] 1 「その他」欄には、当該学部の各年度の卒業者のうち、就職、進学のいずれにも該当しないもののすべての数を記入してください。
- 2 専門学校教員、日本語教師、NGO団体、国際機関等への就職については、「就職（上記以外）」の欄に記入してください。
- 3 専門学校への進学は、「進学（上記以外）」欄に記入してください。

7 国家試験合格率

該当なし

(表9)

8 公開講座の開設状況

該当なし

(表10)

9 学生の国別国際交流

(表11)

国名 学部・研究科	中華人民共和国		大韓民国		—		—		—		その他		合計	
	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ
バイオサイエンス学部	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0
バイオサイエンス研究科	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0
計	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0

- [注] 1 交流協定を締結している海外の大学との状況を中心に、主だった5カ国とその他に分けて記載してください。
 2 学部・大学院研究科ごとに、国別に派遣・受け入れ学生数を記入してください。
 3 2009年5月1日現在で、6カ月以上の期間を要する学生数とします。

10 教員・研究者の国際学術研究交流

(表12)

学部・研究科等		派 遣						受 け 入 れ					
		2006年度		2007年度		2008年度		2006年度		2007年度		2008年度	
		短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期
バイオサイエンス 学部	新規	11	0	13	0	14	0	0	0	0	0	1	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バイオサイエンス 研究科	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	新規	11	0	13	0	14	0	0	0	0	0	1	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- [注] 1 派遣、受け入れとも、1年未満のものを「短期」とし、それ以上を「長期」としてください。
- 2 各派遣者及び受け入れ者について、派遣及び受け入れが複数年度にわたる場合、初年度については「新規」欄に、次年度以降は「継続」欄に人数を記入してください。
- 3 旅費・滞在費等の経費負担が私費によるものも含め、全ての派遣者及び受け入れ者について記入してください。

Ⅲ 学生の受け入れ

1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表13)

		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する 入学者数の比率 (2005～2009年度 平均)
バイオサイエンス学部	バイオサイエンス学科	一般入試	志願者	1,336	985	927	807	782	
			合格者	474	489	529	522	393	
			入学者(A)	146	163	163	165	98	
			入学定員(B)	98	98	88	108	93	
			A/B*100	149.0%	166.3%	185.2%	152.8%	105.4%	
		AO入試	志願者	—	—	—	19	19	
			合格者	—	—	—	13	14	
			入学者(A)	—	—	—	12	14	
			入学定員(B)	—	—	—	10	10	
			A/B*100	—	—	—	120.0%	140.0%	
		指定校推薦	志願者	23	24	16	25	16	
			合格者	23	24	16	25	16	
			入学者(A)	23	24	16	25	16	
			入学定員(B)	20	20	20	20	20	
			A/B*100	115.0%	120.0%	80.0%	125.0%	80.0%	
		公募推薦入試	志願者	242	246	240	205	144	
			合格者	73	105	119	108	110	
			入学者(A)	50	56	54	46	47	
			入学定員(B)	20	20	30	30	25	
			A/B*100	250.0%	280.0%	180.0%	153.3%	188.0%	
		社会人入試	志願者	12	3	0	0	4	
			合格者	8	2	0	0	2	
			入学者(A)	8	2	0	0	2	
			入学定員(B)	*60	*60	*60	0	0	
			A/B*100				0.0%	0.0%	
		留学生入試	志願者	25	18	11	15	5	
			合格者	15	17	9	12	4	
			入学者(A)	15	14	6	9	4	
			入学定員(B)	*60	*60	*60	30	0	
			A/B*100				30.0%	0.0%	
		学 科 計	志願者	1,638	1,276	1,194	1,071	970	
			合格者	593	637	673	680	539	
			入学者(A)	242	259	239	257	181	
			入学定員(B)	198	198	198	198	148	
			A/B*100	122.2%	130.8%	120.7%	129.8%	122.3%	

125.2%

Ⅲ 学生の受け入れ

1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表13)

		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する 入学者数の比率 (2005～2009年度 平均)
バイオサイエンス学部	アニマルバイオサイエンス学科	一般入試	志願者	—	—	—	—	283	
			合格者	—	—	—	—	164	
			入学者(A)	—	—	—	—	44	
			入学定員(B)	—	—	—	—	40	
			A/B*100	—	—	—	—	110.0%	
		公募推薦入試	志願者	—	—	—	—	73	
			合格者	—	—	—	—	29	
			入学者(A)	—	—	—	—	14	
			入学定員(B)	—	—	—	—	10	
			A/B*100	—	—	—	—	140.0%	
		社会人入試	志願者	—	—	—	—	0	
			合格者	—	—	—	—	0	
			入学者(A)	—	—	—	—	0	
			入学定員(B)	—	—	—	—	0	
			A/B*100	—	—	—	—	0.0%	
		留学生入試	志願者	—	—	—	—	0	
			合格者	—	—	—	—	0	
			入学者(A)	—	—	—	—	0	
			入学定員(B)	—	—	—	—	0	
			A/B*100	—	—	—	—	0.0%	
学 科 計	志願者	—	—	—	—	356			
	合格者	—	—	—	—	193			
	入学者(A)	—	—	—	—	58			
	入学定員(B)	—	—	—	—	50			
	A/B*100	—	—	—	—	116.0%			
									116.0%

Ⅲ 学生の受け入れ

1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表13)

		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する 入学者数の比率 (2005～2009年度 平均)
バイオサイエンス学部	コンピュータバイオサイエンス学科	一般入試	志願者	—	—	—	—	153	130.0%
			合格者	—	—	—	—	135	
			入学者(A)	—	—	—	—	41	
			入学定員(B)	—	—	—	—	27	
			A/B*100	—	—	—	—	151.9%	
		指定校推薦	志願者	—	—	—	—	3	
			合格者	—	—	—	—	3	
			入学者(A)	—	—	—	—	3	
			入学定員(B)	—	—	—	—	5	
			A/B*100	—	—	—	—	60.0%	
		公募推薦入試	志願者	—	—	—	—	34	
			合格者	—	—	—	—	33	
			入学者(A)	—	—	—	—	7	
			入学定員(B)	—	—	—	—	8	
			A/B*100	—	—	—	—	87.5%	
		社会人入試	志願者	—	—	—	—	1	
			合格者	—	—	—	—	1	
			入学者(A)	—	—	—	—	0	
			入学定員(B)	—	—	—	—	0	
			A/B*100	—	—	—	—	0.0%	
		留学生入試	志願者	—	—	—	—	1	
			合格者	—	—	—	—	1	
			入学者(A)	—	—	—	—	1	
			入学定員(B)	—	—	—	—	0	
			A/B*100	—	—	—	—	0.0%	
学 科 計	志願者	—	—	—	—	192			
	合格者	—	—	—	—	173			
	入学者(A)	—	—	—	—	52			
	入学定員(B)	—	—	—	—	40			
	A/B*100	—	—	—	—	130.0%			

Ⅲ 学生の受け入れ

1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表13)

		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する 入学者数の比率 (2005～2009年度 平均)
学 部 合 計	志願者	1,638	1,276	1,194	1,071	1,518	125.2%
	合格者	593	637	673	680	905	
	入学者(A)	242	259	239	257	291	
	入学定員(B)	198	198	198	198	238	
	A/B*100	122.2%	130.8%	120.7%	129.8%	122.3%	
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する 入学者数の比率 (2005～2009年度 平均)
大 学 合 計	志願者	1,638	1,276	1,194	1,071	1,518	125.2%
	合格者	593	637	673	680	905	
	入学者(A)	242	259	239	257	291	
	入学定員(B)	198	198	198	198	238	
	A/B*100	122.2%	130.8%	120.7%	129.8%	122.3%	

Ⅲ 学生の受け入れ

1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表13)

- [注] 1 「編入学試験」は、この表には記入しないでください。
- 2 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。
- 3 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を（ ）内に記入してください。ただし、相当数の学生（約一割以上）を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。
- 4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 5 学部が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて各学科の「計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。複数学部を設置している大学の場合は、「大学合計」欄を設け、「学部合計」と同様に記入してください。
- 6 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。
- 7 5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を「入学定員に対する入学者数の比率（2005～2009年度平均）」欄に記入してください。
- 8 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。
- 9 各入学（募集）定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

[大学注] 2005～2007年度の社会人と留学生定員は一括定員設定60名であるため「入学定員に対する入学者の割合」の数値は記入していない。

2 学部・学科の学生定員及び在籍学生数

(表14)

学 部	学 科	入 学 員 編 入 員	収容定員		在籍学生数		B/A	D/C	在 籍 学 生 数								備 考	
			総 数 (A)	う ち 編 入 学 生 数 (C)	総 数 (B)	う ち 編 入 学 生 数 (D)			第 1 年 次		第 2 年 次		第 3 年 次		第 4 年 次			
									学 生 数	留 年 者 数 (内 数)	学 生 数	留 年 者 数 (内 数)	学 生 数	留 年 者 数 (内 数)	学 生 数	留 年 者 数 (内 数)		
バイオ サイエンス学部	バイオ サイエンス学科	148	4	750	8	941	14	1.25	1.75	181	0	256	※ 1	238	0	266	13	編入受入3年次 2009年度より定員 変更(198→148)
	アニマル バイオサイエンス 学科	50	0	50	0	58	0	1.16	0.00	58	—	—	—	—	—	—	—	2009年4月 開設
	コンピュータ バイオサイエンス 学科	40	0	40	0	52	0	1.30	0.00	52	—	—	—	—	—	—	—	2009年4月 開設
計		238	4	840	8	1,051	14	1.25	1.75	291	0	256	※ 1	238	0	266	13	
合 計		238	4	840	8	1,051	14	1.25	1.75	291	0	256	※ 1	238	0	266	13	

- [注] 1 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
- 2 収容定員は、定員変更などにより、現在の入学定員の4倍（6年制の学部は6倍）ではない場合がありますので、該当する年度ごとの入学定員、編入定員に注意してください。
- 3 現在の在籍学生に関わる入学定員及び編入定員に変更があった場合には、「備考」欄に注記してください。
- 4 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。
- 5 編入定員を設定している場合は、備考欄にその受け入れ年次を記入してください。
- 6 「B/A」及び「D/C」欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。
- 7 通信教育課程、専攻科、別科等についても学部の表に準じて作成してください。

[大学注] ※ 第2年次の留年者数1名は、1年以上の休学による原級留置によるものである。

3 学部の入学者の構成

(表15)

学 部	学 科		入 学 者 数						備 考	
			一般入試	A0入試	指定校 推 薦	公募推薦 入 試	社会人 入 試	留学生 入 試		計
バイオ サイエンス学部	バイオ サイエンス学科	募集定員	93	10	20	25	0	0	148	
		入学者数	98	14	16	47	2	4	181	
		計に対する割合	54.1%	7.7%	8.8%	26.0%	1.1%	2.2%	100.0%	
	アニマル バイオサイエン ス学科	募集定員	40	—	—	10	0	0	50	
		入学者数	44	—	—	14	0	0	58	
		計に対する割合	75.9%	—	—	24.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
	コンピュータ バイオサイエン ス学科	募集定員	27	—	5	8	0	0	40	
		入学者数	41	—	3	7	0	1	52	
		計に対する割合	78.8%	—	5.8%	13.5%	0.0%	1.9%	100.0%	
合 計	募集定員	160	10	25	43	0	0	238		
	入学者数	183	14	19	68	2	5	291		
	計に対する割合	62.9%	4.8%	6.5%	23.4%	0.7%	1.7%	100.0%		

- [注] 1 入試の種類については、「Ⅲ 1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移」(表13)と同様の区分で作成してください。
- 2 各学科および合計欄の下段には全入学者数に対する入試の種類ごとの割合を記入してください。
- 3 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。
- 4 「その他」の入試による内訳を、備考欄に記載してください。
- 5 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 6 各募集定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

4 学部・学科の退学者数

(表17)

学部	学科	2006年度					2007年度					2008年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
バイオサイエンス学部	バイオサイエンス学科	10	10	0	3	23	6	4	2	2	14	2	2	1	2	7
計		10	10	0	3	23	6	4	2	2	14	2	2	1	2	7
合 計		10	10	0	3	23	6	4	2	2	14	2	2	1	2	7

[注] 1 退学者数には、除籍者も含めてください。

2 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。

5 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数

(表18)

研究科	専攻	入学定員		収容定員		在籍学生数											
		修士課程	博士課程	修士課程(A)	博士課程(B)	修士課程						博士課程					
						一般	社会人	留学生	その他	計(C)	C/A	一般	社会人	留学生	その他	計(D)	D/B
バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻	30	5	60	15	76	1	6	0	83	1.38	6	1	0	0	7	0.47
計		30	5	60	15	76	1	6	0	83	1.38	6	1	0	0	7	0.47
合計		30	5	60	15	76	1	6	0	83	1.38	6	1	0	0	7	0.47

- [注] 1 博士課程を前期と後期に区分している場合は、前期課程は修士課程の欄に後期課程は博士課程の欄に記載してください。
また、5年一貫制の博士課程は博士課程の欄に記載してください。
- 2 専門職学位課程については、該当する研究科・専攻名の後に「(専門職)」と付記し、付与する学位の種類に対応する欄に記載してください。
- 3 科目等履修生、聴講生、研究生は、在籍学生数には含めないでください。
- 4 「収容定員に対する在籍学生数比率」(C/A)および(D/B)欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。

6 法科大学院の学生定員及び在籍学生数

(表18-2)

該 当 な し

7 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表18-3)

※4月入学

研究科名	専攻名	入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005~2009年度年平均)		
バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻	一般入試	志願者	—	—	3	1	5	126.7%	
			合格者	—	—	3	0	3		
			入学者(A)	—	—	3	0	3		
			入学定員(B)	—	—	5	5	5		
		A/B*100	—	—	60.0%	0.0%	60.0%			
		社会人入試	志願者	—	—	0	0	1		
			合格者	—	—	0	0	1		
			入学者(A)	—	—	0	0	1		
			入学定員(B)	—	—	0	0	0		
		A/B*100	—	—	0.0%	0.0%	0.0%			
		留学生入試	志願者	—	—	2	5	3		
			合格者	—	—	2	5	1		
			入学者(A)	—	—	1	5	1		
			入学定員(B)	—	—	0	0	0		
		A/B*100	—	—	0.0%	0.0%	0.0%			
		学内進学入試	志願者	—	—	30	69	66		
			合格者	—	—	30	68	50		
			入学者(A)	—	—	28	44	28		
			入学定員(B)	—	—	25	25	25		
		A/B*100	—	—	112.0%	176.0%	112.0%			
		課程計	志願者	—	—	35	75	75		
			合格者	—	—	35	73	55		
			入学者(A)	—	—	32	49	33		
			入学定員(B)	—	—	30	30	30		
		A/B*100	—	—	106.7%	163.3%	110.0%			
		博士前期(修士)課程	一般入試	志願者	—	—	1	0		0
				合格者	—	—	1	0		0
				入学者(A)	—	—	1	0		0
				入学定員(B)	—	—	0	0		0
			A/B*100	—	—	0.0%	0.0%	0.0%		
社会人入試	志願者		—	—	0	1	0			
	合格者		—	—	0	1	0			
	入学者(A)		—	—	0	1	0			
	入学定員(B)		—	—	0	0	0			
A/B*100	—		—	0.0%	0.0%	0.0%				
留学生入試	志願者		—	—	0	0	0			
	合格者		—	—	0	0	0			
	入学者(A)		—	—	0	0	0			
	入学定員(B)		—	—	0	0	0			
A/B*100	—		—	0.0%	0.0%	0.0%				
学内進学入試	志願者		—	—	—	—	6			
	合格者	—	—	—	—	5				
	入学者(A)	—	—	—	—	5				
	入学定員(B)	—	—	—	—	5				
A/B*100	—	—	—	—	100.0%					
課程計	志願者	—	—	1	1	6				
	合格者	—	—	1	1	5				
	入学者(A)	—	—	1	1	5				
	入学定員(B)	—	—	5	5	5				
A/B*100	—	—	20.0%	20.0%	100.0%					
博士後期(博士)課程	一般入試	志願者	—	—	—	—	—			
		合格者	—	—	—	—	—			
		入学者(A)	—	—	—	—	—			
		入学定員(B)	—	—	—	—	—			
	A/B*100	—	—	—	—	—				
	社会人入試	志願者	—	—	—	—	—			
		合格者	—	—	—	—	—			
		入学者(A)	—	—	—	—	—			
		入学定員(B)	—	—	—	—	—			
	A/B*100	—	—	—	—	—				
	留学生入試	志願者	—	—	—	—	—			
		合格者	—	—	—	—	—			
		入学者(A)	—	—	—	—	—			
		入学定員(B)	—	—	—	—	—			
	A/B*100	—	—	—	—	—				
	学内進学入試	志願者	—	—	—	—	—			
合格者		—	—	—	—	—				
入学者(A)		—	—	—	—	—				
入学定員(B)		—	—	—	—	—				
A/B*100	—	—	—	—	—					
課程計	志願者	—	—	—	—	—				
	合格者	—	—	—	—	—				
	入学者(A)	—	—	—	—	—				
	入学定員(B)	—	—	—	—	—				
A/B*100	—	—	—	—	—					

7 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表18-3)

※4月入学

研究科名	専攻名	入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度年平均)
イバ エ イ ン オ ス サ 研 究 科	専攻計	志願者	—	—	36	76	81	115.3%
		合格者	—	—	36	74	60	
		入学者(A)	—	—	33	50	38	
		入学定員(B)	—	—	35	35	35	
		A/B*100	—	—	94.3%	142.9%	108.6%	
研究科合計	研究科合計	志願者	—	—	36	76	81	115.3%
		合格者	—	—	36	74	60	
		入学者(A)	—	—	33	50	38	
		入学定員(B)	—	—	35	35	35	
		A/B*100	—	—	94.3%	142.9%	108.6%	
大学院合計	大学院合計	志願者	—	—	36	76	81	115.3%
		合格者	—	—	36	74	60	
		入学者(A)	—	—	33	50	38	
		入学定員(B)	—	—	35	35	35	
		A/B*100	—	—	94.3%	142.9%	108.6%	

- [注] 1 博士課程前期(修士)課程、博士課程後期(博士)課程、一貫制、専門職大学院のそれぞれの課程ごとに記入してください。
- 2 法科大学院については、(表18-4)に記入してください。
- 3 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を()内に記入してください。ただし、相当数の学生(約一割以上)を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。
- 4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。
- 6 「課程」「専攻」「研究科」「大学院」の各計について、「入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)」欄に、5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を記入してください。

[大学注]2007年～2008年の博士後期課程入学定員の設定は、各入試別には設定していない。

7 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表18-3)

※10月入学

研究科名	専攻名	入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005~2009年度年平均)	
バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻	一般入試	志願者	—	—	0	0	0	0.0%
			合格者	—	—	0	0	0	
			入学者(A)	—	—	0	0	0	
			入学定員(B)	—	—	0	0	0	
		A/B*100	—	—	0.0%	0.0%	0.0%		
		社会人入試	志願者	—	—	0	0	0	
			合格者	—	—	0	0	0	
			入学者(A)	—	—	0	0	0	
			入学定員(B)	—	—	0	0	0	
		A/B*100	—	—	0.0%	0.0%	0.0%		
		留学生入試	志願者	—	—	0	0	0	
			合格者	—	—	0	0	0	
			入学者(A)	—	—	0	0	0	
			入学定員(B)	—	—	0	0	0	
		A/B*100	—	—	0.0%	0.0%	0.0%		
		学内進学入試	志願者	—	—	0	1	0	
			合格者	—	—	0	1	0	
			入学者(A)	—	—	0	1	0	
			入学定員(B)	—	—	0	0	0	
		A/B*100	—	—	0.0%	0.0%	0.0%		
		課程計	志願者	—	—	0	1	0	
			合格者	—	—	0	1	0	
			入学者(A)	—	—	0	1	0	
			入学定員(B)	—	—	0	0	0	
		A/B*100	—	—	0.0%	0.0%	0.0%		
		一般入試	志願者	—	—	0	0	0	
			合格者	—	—	0	0	0	
			入学者(A)	—	—	0	0	0	
			入学定員(B)	—	—	0	0	0	
		A/B*100	—	—	0.0%	0.0%	0.0%		
社会人入試	志願者	—	—	0	0	0			
	合格者	—	—	0	0	0			
	入学者(A)	—	—	0	0	0			
	入学定員(B)	—	—	0	0	0			
A/B*100	—	—	0.0%	0.0%	0.0%				
留学生入試	志願者	—	—	0	0	0			
	合格者	—	—	0	0	0			
	入学者(A)	—	—	0	0	0			
	入学定員(B)	—	—	0	0	0			
A/B*100	—	—	0.0%	0.0%	0.0%				
学内進学入試	志願者	—	—	0	0	0			
	合格者	—	—	0	0	0			
	入学者(A)	—	—	0	0	0			
	入学定員(B)	—	—	0	0	0			
A/B*100	—	—	0.0%	0.0%	0.0%				
課程計	志願者	—	—	0	0	0			
	合格者	—	—	0	0	0			
	入学者(A)	—	—	0	0	0			
	入学定員(B)	—	—	0	0	0			
A/B*100	—	—	0.0%	0.0%	0.0%				

7 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表18-3)

※10月入学

研究科名	専攻名	入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度年平均)
イバ エ イ ン ス サ 研 究 科	専攻計	志願者	—	—	0	1	0	0.0%
		合格者	—	—	0	1	0	
		入学者(A)	—	—	0	1	0	
		入学定員(B)	—	—	0	0	0	
		A/B*100	—	—	0.0%	0.0%	0.0%	
研究科合計		志願者	—	—	0	1	0	0.0%
		合格者	—	—	0	1	0	
		入学者(A)	—	—	0	1	0	
		入学定員(B)	—	—	0	0	0	
		A/B*100	—	—	0.0%	0.0%	0.0%	
大学院合計		志願者	—	—	0	1	0	0.0%
		合格者	—	—	0	1	0	
		入学者(A)	—	—	0	1	0	
		入学定員(B)	—	—	0	0	0	
		A/B*100	—	—	0.0%	0.0%	0.0%	

- [注] 1 博士課程前期(修士)課程、博士課程後期(博士)課程、一貫制、専門職大学院のそれぞれの課程ごとに記入してください。
- 2 法科大学院については、(表18-4)に記入してください。
- 3 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を()内に記入してください。ただし、相当数の学生(約一割以上)を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。
- 4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。
- 6 「課程」「専攻」「研究科」「大学院」の各計について、「入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)」欄に、5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を記入してください。

8 法科大学院の志願者・合格者・入学者数の推移

(表18-4)

該 当 な し

IV 教員組織

1-1 全学の教員組織

(表19)

学部・学科、研究科・ 専攻、研究所等		専任教員数										助手	備考
		教授		准教授		講師		助教		計			
			特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		
バイオサイエンス学部	バイオサイエンス学科	14	0	7	0	8	0	2	0	31	0	12	
	アニマル バイオサイエンス学科	2	0	1	0	1	0	0	0	4	0	1	2009年4月1日開設
	コンピュータ バイオサイエンス学科	2	0	1	0	1	0	1	0	5	0	0	2009年4月1日開設
バイオサイエンス学部 計		18	0	9	0	10	0	3	0	40	0	13	
バイオサイエンス 研究科	バイオサイエンス専攻	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
バイオサイエンス研究科 計		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
合 計		19	0	9	0	10	0	3	0	41	0	13	

- [注] 1 全学の専任教員について、学部、大学院研究科、専門職大学院、研究所等、各所属組織ごとに記載してください。
- 2 専門職大学院については、該当する研究科（または専攻名）の後に「（専門職）」と付記してください。
- 3 教育組織と教員組織が異なる場合は、専任教員が在籍しなくても、まず教育組織を記載し、その後に教員組織を記載し、当該教員組織に専任教員数を記入してください(次ページ記入例参照)。
- 4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。
- 5 本表においては、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」についても、専任教員数に含めて記入してください。
- 6 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者（教育研究条件等において専任教員と同等の者）のみを「専任教員数」の欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄（左側）に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については記入しないでください。
- 7 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を複数の組織に重複して記入しないでください。

1-2 学部の教員組織

※2学科は2009年度に設置。

(表19-2)

学部・学科等		専任教員数										助手	設置基準上 必要専任教員数	専任教員1人 当たりの 在籍学生数 (表14(B)/計 (A))	兼任 教員数	備考
		教授		准教授		講師		助教		計(A)						
		特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)							
バイオサイエンス学部	バイオサイエンス学科	15	0	7	0	8	0	2	0	32	0	12	12	25.6	0	
	※アニマル バイオサイエンス学科	2	0	1	0	1	0	0	0	4	0	1	4		0	
	※コンピュータ バイオサイエンス学科	2	0	1	0	1	0	1	0	5	0	0	4		0	
バイオサイエンス学部 計		19	0	9	0	10	0	3	0	41	0	13	20		31	TA 50
大学全体の収容定員に応じ 定める専任教員数													13			
合計		19	0	9	0	10	0	3	0	41	0	13	33		31	TA 50

- [注] 1 「専任教員数」については、(表19)のうち、学部教育を担当する専任教員について作表してください。
- 2 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等の学部教育を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の学部教育担当組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。
- 3 「専任教員数」欄には、大学院研究科等の専任で、その研究科の基礎となる学部・学科等においても専任として授業を担当している教員数も含めて記入してください。その場合、(表19-3)及び(表19-4)の専任教員が、本表においても専任教員に算入されます。たとえば、大学院研究科に専任教員が配置され、学部教育が専ら研究科の専任教員によって行われている場合がこの典型的な例です。
- 4 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学設置基準における必要専任教員数に留意して、学部教育担当専任教員数を適切に記入してください。
- 5 当該学部・学科の専任であっても、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」については、専任教員数には含めないでください。
- 6 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者(研究条件等において専任教員と同等の者)のみを「専任教員数」欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄(左側)に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については「兼任教員数」欄に含めて記入してください。
- 7 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を複数の組織に重複記入しないでください。
- 8 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数を記入してください。併設短期大学からの兼務者も「兼任教員数」の欄に含めてください。なお、国立大学所属教員については、「兼任」「兼任」を共に「併任」としている場合もありますが、学外からの併任者は「兼任教員数」欄に記入してください。
- 同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれ記入してください(重複可)。大学の状況によっては、兼任教員数の欄は学科ごとではなく学部全体で記述しても結構です。
- 9 「設置基準上必要専任教員数」欄には、大学設置基準別表第一、第二をもとに算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに備考欄にその旨を記述してください。
- 10 「助手」欄には、大学院研究科等の専任で学部の業務にも従事している助手数も含めて記入してください。
- 11 専任教務補助員(例えば、いわゆる副手、実験補助員等)、ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

1-3 大学院研究科の教員組織（専門職大学院を除く）

(表19-3)

研究科・専攻			専任教員数										助手	専任教員のうち		設置基準上必要専任教員数		兼任教員数	備考
			教授		准教授		講師		助教		計			研究指導教員数	研究指導補助教員数	研究指導教員数	研究指導補助教員数		
			特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)									
バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻	博士課程前期	15	0	6	0	0	0	0	0	21	0	11	13(12)	8	5(3)	3	8	
		博士課程後期	11	0	1	0	0	0	0	0	12	0	11	12(11)	0	4(3)	3	0	
合計			26	0	7	0	0	0	0	0	33	0	22	25	8	9	6	8	

() 内は教授の数を内数で示す。

- [注] 1 専任教員については、(表19)のうち、大学院研究科の教育を担当する専任教員について専攻、課程ごとに記入してください。
- 2 専門職大学院については、既存の研究科の1専攻として置かれている場合であっても、次表(表19-4)により別に作表してください。
- 3 「専任教員数」欄には、学部・学科等の専任で、たとえば、その学部・学科等に基礎を置く当該研究科・専攻等においても専任として授業を担当している常勤教員数も含めて記入してください。その場合、前表(19-2)の専任教員が、本表にも専任教員に算入されます。
- 4 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学院設置基準等における必要専任教員数に留意して大学院研究科の教育を担当する専任教員数を適切に記入してください。
- 5 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者(研究条件等において専任教員と同等の者)のみを「専任教員数」の欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄(左側)に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については「兼任教員数」欄に含めて記入してください。
- 6 「研究指導教員」とは、大学院設置基準第9条第1項各号に掲げる資格を有する教員を指し、「研究指導補助教員」とは、研究指導の補助を行い得る教員を指します。
- 7 「研究指導教員数」欄の()には、教授の数を内数で記入してください。
- 8 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を同一の課程に重複して算入しないでください。1人の専任教員を修士課程と博士課程の両課程においてそれぞれ1専攻に限り専任とすることはできますが、どちらか一方の課程において、複数の専攻の専任とすることはできませんので、留意してください。
- 9 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数を記入してください。なお、国立大学所属教員については、「兼任」「兼任」を共に「併任」としている場合もありますが、学外からの併任者は「兼任教員数」欄に記入してください。
同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれ記入してください(重複可)。大学の状況によっては、兼任教員数の欄は専攻ごとではなく研究科全体で記入しても結構です。
- 10 「設置基準上必要専任教員数」欄には、「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件」(平成11年文部省告示第175号)により算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに備考欄にその旨を記述してください。
- 11 「助手」欄には、学部・学科等の専任で大学院研究科の業務にも従事している助手数も含めて記入してください。
- 12 専任教務補助員(例えば、いわゆる副手、実験補助員等)、ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

1-4 専門職大学院の教員組織

該当なし

(表19-4)

1-5 事務組織

(表19-5)

		0	0	1	0	0	0	0	1
		0	0	1	0	0	0	0	1
		1	0	0	0	0	0	0	1
		0	0	1	1	0	0	0	2
		0	0	1	0	0	0	0	1
		1	0	4	1	0	0	0	6
		1	1	0	0	0	0	0	1
		1	1	0	0	0	0	0	1
		1	0	0	2	0	0	0	3
		4	1	0	1	0	0	0	5
		3	1	1	0	0	0	0	4
		1	0	2	0	0	0	0	3
		3	1	1	1	0	0	0	5
		0	0	2	1	0	0	0	3
		1	0	2	2	0	0	0	5
		15	5	8	7	0	0	0	30
		16	5	12	8	0	0	0	36

[]

2 専任教員個別表

バイオサイエンス学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目								年間平均毎週授業時間数	大学院における研究指導担当資格の有無	最終学歴及び学位称号	
							科目名	毎週授業時間数										
								講義		演習		実験・実習・実技		計				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期
教授	しもにし やすつぐ 下西 康嗣	男	72	2003. 4. 1	2003. 4. 1	バイオサイエンス学科	プロテオミクス概論		2.0					0.0	2.0	1.0	有	大阪大学大学院理学研究科有機化学専攻博士課程修了理学博士
計							0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0				
教授	にし よしすけ 西 義介	男	60	2004. 4. 1	2004. 4. 1	バイオサイエンス学科	タンパク質科学	2.0						2.0	0.0	24.9	有	京都大学農学部農芸化学科卒業薬学博士
							バイオマテリアル産業論		2.0				0.0	2.0				
							タンパク質工学		1.0				0.0	1.0				
							分子科学専門実験Ⅰ					2.4	2.4	0.0				
							分子科学専門実験Ⅱ					2.4	0.0	2.4				
							文献調査・講読			2.0	2.0		2.0	2.0				
							卒業研究					8.0	8.0	8.0	8.0			
							△バイオ情報科学技術特別演習			2.0	2.0		2.0	2.0				
							△バイオ情報科学技術特別研究					8.0	8.0	8.0	8.0			
計							2.0	3.0	4.0	4.0	18.4	18.4	24.4	25.4				
教授	みずかみ たみお 水上 民夫	男	54	2003. 4. 1	2003. 4. 1	バイオサイエンス学科	ゲノム創薬科学	2.0						2.0	0.0	38.7	有	京都大学大学院農学研究科修士課程修了農学博士
							バイオビジネス概論		1.0				0.0	1.0				
							遺伝子科学応用実験Ⅰ					2.0	2.0	0.0				
							遺伝子科学専門実験Ⅰ					2.0	2.0	0.0				
							遺伝子科学専門実験Ⅱ					2.4	0.0	2.4				
							文献調査・講読			2.0	2.0		2.0	2.0				
							卒業研究					8.0	8.0	8.0	8.0			
							△バイオ機能科学技術特別演習			2.0	2.0		2.0	2.0				
							△バイオ機能科学技術特別研究					8.0	8.0	8.0	8.0			
							▲バイオ科学技術特別研究 (演習含む)					14.0	14.0	14.0	14.0			
計							2.0	1.0	4.0	4.0	34.0	32.4	40.0	37.4				

2 専任教員個別表

バイオサイエンス学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目								年間平均毎週授業時間数	大学院における研究指導担当資格の有無	最終学歴及び学位称号				
							科目名	毎週授業時間数													
								講義		演習		実験・実習・実技		計							
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期			
教授	みずもとくにひこ 水本 邦彦	男	62	2009. 4. 1	2009. 4. 1	バイオサイエンス学科	日本文化論 歴史学	2.0							2.0	0.0			無	京都大学大学院文学研究科博士課程国史学専攻単位取得退学文学博士	
							計	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0					
教授	いとうまさえ 伊藤 正恵	女	51	2004. 4. 1	2004. 4. 1	バイオサイエンス学科	安全学 ウイルス学 遺伝子科学応用実験Ⅰ 遺伝子科学専門実験Ⅰ 遺伝子科学専門実験Ⅱ 文献調査・講読 卒業研究 △ゲノム機能解析特論 △バイオ機能科学技術特別演習 △バイオ機能科学技術特別研究	1.0					2.0			1.0	0.0			有	神戸大学大学院医学研究科博士課程単位修得退学医学博士
							計	2.0	2.0	4.0	4.0	20.0	18.4	26.0	24.4	25.2					
教授	いけがみすすむ 池上 晋	男	70	2003. 4. 1	2003. 4. 1	バイオサイエンス学科	環境生態学 環境保全学 生物・化学応用実験Ⅰ 生物・化学応用実験Ⅱ 環境科学専門実験Ⅱ 文献調査・講読 卒業研究 △バイオ環境科学技術特別演習 △バイオ環境科学技術特別研究	2.0								2.0	0.0			有	東京大学大学院農学系研究科博士課程修了農学博士
							計	2.0	2.0	4.0	4.0	18.4	22.4	24.4	28.4	26.4					

2 専任教員個別表

バイオサイエンス学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目								年間平均 毎週授業 時間数	大学院に おける研 究指導担 当資格の 有無	最終学歴及び 学位称号	
							科目名	毎週授業時間数										
								講義		演習		実験・実習 ・実技		計				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期
教授	ふくだ つねひこ 福田 常彦	男	64	2003. 4. 1	2003. 4. 1	バイオサイ エンス学科	化学 I (有機化学)	2.0					2.0	0.0	24.4	有	大阪大学大学 院理学研究科 有機化学専攻 修士課程修了 理学博士	
							生化学 I (生体成分化学)		2.0				0.0	2.0				
							分子科学専門実験 I				2.4		2.4	0.0				
							分子科学専門実験 II					2.4	0.0	2.4				
							文献調査・講読			2.0	2.0		2.0	2.0				
							卒業研究					8.0	8.0	8.0				8.0
							△バイオ情報科学技術特別演習			2.0	2.0		2.0	2.0				
							△バイオ情報科学技術特別研究					8.0	8.0	8.0				8.0
計	2.0	2.0	4.0	4.0	18.4	18.4	24.4	24.4										
教授	おおた しんじ 太田 伸二	男	50	2004. 4. 1	2004. 4. 1	バイオサイ エンス学科	機器分析概論	2.0					2.0	0.0	40.4	有	広島大学大学 院理学研究科 化学専攻博士 課程後期課程 修了 理学博士	
							環境化学		2.0				0.0	2.0				
							生物・化学応用実験 I				2.4		2.4	0.0				
							生物・化学応用実験 II					4.0	0.0	4.0				
							環境科学専門実験 II					2.4	0.0	2.4				
							文献調査・講読			2.0	2.0		2.0	2.0				
							卒業研究					8.0	8.0	8.0				8.0
							△バイオ環境科学技術特別演習			2.0	2.0		2.0	2.0				
							△バイオ環境科学技術特別研究					8.0	8.0	8.0				8.0
							▲バイオ科学技術特別研究 (演習含む)					14.0	14.0	14.0				14.0
計	2.0	2.0	4.0	4.0	32.4	36.4	38.4	42.4										

2 専任教員個別表

バイオサイエンス学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目								年間平均 毎週授業 時間数	大学院に おける研 究指導の 資格の有 無	最終学歴及 び学位称号	
							科目名	毎週授業時間数										
								講義		演習		実験・実習 ・実技		計				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期
教授	おおしま あつし 大島 淳	男	52	2003. 4. 1	2003. 4. 1	バイオサイ エンス学科	基礎微生物学	2.0						2.0	0.0	有	京都大学大学 院農学研究科 食品工学専攻 修士課程修了 博士（農学）	
							遺伝子工学		2.0					0.0	2.0			
							遺伝子科学応用実験Ⅰ					2.0		2.0	0.0			
							遺伝子科学専門実験Ⅰ					2.0		2.0	0.0			
							遺伝子科学専門実験Ⅱ						2.4	0.0	2.4			
							インターンシップ実習				1.0	1.0	1.0	1.0				
							文献調査・講読			2.0	2.0			2.0	2.0			
							卒業研究					8.0	8.0	8.0	8.0			
							△ゲノム機能解析特論	1.0						1.0	0.0			
							△バイオ機能科学技術特別演習			2.0	2.0			2.0	2.0			
△バイオ機能科学技術特別研究					8.0	8.0	8.0	8.0										
計							3.0	2.0	4.0	4.0	21.0	19.4	28.0	25.4	26.7			
教授	うえつき たいち 植月 太一	男	51	2004. 4. 1	2004. 4. 1	バイオサイ エンス学科	放射線生物学	2.0						2.0	0.0	有	東京大学大学 院理学系研究 科生物化学専 攻博士課程修 了理学博士	
							放射線概論		2.0					0.0	2.0			
							細胞科学応用実験Ⅱ						6.0	0.0	6.0			
							文献調査・講読			2.0	2.0			2.0	2.0			
							卒業研究					8.0	8.0	8.0	8.0			
							△高次生体機能科学特論		1.0					0.0	1.0			
							△インターンシップ実習					1.0	1.0	1.0	1.0			
							△バイオ機能科学技術特別演習			2.0	2.0			2.0	2.0			
							△バイオ機能科学技術特別研究					8.0	8.0	8.0	8.0			
							計							2.0	3.0			4.0

2 専任教員個別表

バイオサイエンス学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目								年間平均毎週授業時間数	大学院における研究指導担当資格の有無	最終学歴及び学位称号	
							科目名	毎週授業時間数										
								講義		演習		実験・実習・実技		計				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期
教授	さいとう おさむ 齊藤 修	男	50	2004. 4. 1	2004. 4. 1	バイオサイエンス学科	遺伝子科学	2.0						2.0	0.0	有	東京大学大学院理学研究科博士課程動物学専攻修了理学博士	
							神経生物学	2.0						2.0	0.0			
							遺伝子科学応用実験 I					2.0		2.0	0.0			
							遺伝子科学専門実験 I					2.0		2.0	0.0			
							遺伝子科学専門実験 II						2.4	0.0	2.4			
							文献調査・講読			2.0	2.0			2.0	2.0			
							卒業研究					8.0	8.0	8.0	8.0			
							△細胞機能科学特論		1.0					0.0	1.0			
							△バイオ機能科学技術特別演習			2.0	2.0			2.0	2.0			
							△バイオ機能科学技術特別研究					8.0	8.0	8.0	8.0			
計	4.0	1.0	4.0	4.0	20.0	18.4	28.0	23.4	25.7									
教授	さい こうしよく 蔡 晃植	男	48	2005. 4. 1	2005. 4. 1	バイオサイエンス学科	細胞生物学 I		2.0					0.0	2.0	有	朝鮮大学理学部化学科卒業農学博士	
							植物分子環境生理学	2.0						2.0	0.0			
							生物・化学応用実験 I					2.4		2.4	0.0			
							環境科学専門実験 I					4.0		4.0	0.0			
							環境科学専門実験 II						2.4	0.0	2.4			
							文献調査・講読			2.0	2.0			2.0	2.0			
							卒業研究					8.0	8.0	8.0	8.0			
							△環境分子生物学特論		1.0					0.0	1.0			
							△バイオ環境科学技術特別演習			2.0	2.0			2.0	2.0			
							△バイオ環境科学技術特別研究					8.0	8.0	8.0	8.0			
▲バイオ科学技術特別研究 (演習含む)					14.0	14.0	14.0	14.0										
計	2.0	3.0	4.0	4.0	36.4	32.4	42.4	39.4	40.9									

2 専任教員個別表

バイオサイエンス学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目								年間平均毎週授業時間数	大学院における研究指導担当資格の有無	最終学歴及び学位称号	
							科目名	毎週授業時間数										
								講義		演習		実験・実習・実技		計				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期
教授	しらい つよし 白井 剛	男	42	2005. 4. 1	2005. 4. 1	バイオサイエンス学科	構造生物学		2.0					0.0	2.0	39.0	有	名古屋大学大学院理学研究科博士後期課程生物学専攻退学理学博士
							生命情報科学応用実習Ⅰ				3.2		3.2	0.0				
							生命情報科学専門実習Ⅰ				2.7		2.7	0.0				
							生命情報科学専門実習Ⅱ					1.0	0.0	1.0				
							文献調査・講読			2.0	2.0		2.0	2.0				
							卒業研究				8.0	8.0	8.0	8.0				
							△ゲノム情報科学特論	1.0					1.0	0.0				
							△バイオ情報科学技術特別演習			2.0	2.0		2.0	2.0				
							△バイオ情報科学技術特別研究					8.0	8.0	8.0	8.0			
							▲バイオ科学技術特別研究(演習含む)					14.0	14.0	14.0	14.0			
計	1.0	2.0	4.0	4.0	35.9	31.0	40.9	37.0										
教授	かわせ まさや 川瀬 雅也	男	47	2008. 4. 1	2008. 4. 1	バイオサイエンス学科	自然科学基礎実験				6.0		6.0	0.0	21.0	無	京都大学大学院工学研究科工業化学専攻博士課程単位取得退学工学博士	
							分子科学基礎実験					12.0	0.0	12.0				
							分子科学応用実験Ⅰ				12.0		12.0	0.0				
							分子科学応用実験Ⅱ					12.0	0.0	12.0				
							計	0.0	0.0	0.0	0.0	18.0	24.0	18.0				24.0
准教授	いわもと(きはら) あつこ 岩本(木原) 昌子	女	46	2003. 4. 1	2003. 4. 1	バイオサイエンス学科	基礎生物学	2.0					2.0	0.0	27.7	有	大阪大学大学院工学研究科醗酵工学専攻博士課程修了博士(工学)	
							生化学Ⅱ(代謝生化学)		2.0				0.0	2.0				
							自然科学基礎実験				3.0		3.0	0.0				
							細胞科学基礎実験					6.0	0.0	6.0				
							細胞科学専門実習Ⅱ					2.4	0.0	2.4				
							文献調査・講読			2.0	2.0		2.0	2.0				
							卒業研究				8.0	8.0	8.0	8.0				
							△バイオ機能科学技術特別演習			2.0	2.0		2.0	2.0				
							△バイオ機能科学技術特別研究					8.0	8.0	8.0				8.0
							計	2.0	2.0	4.0	4.0	19.0	24.4	25.0				30.4

2 専任教員個別表

バイオサイエンス学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目								年間平均 毎週授業 時間数	大学院に おける研 究指導担 当資格の 有無	最終学歴及び 学位称号	
							科目名	毎週授業時間数										
								講義		演習		実験・実習 ・実技		計				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期
准教授	こみや とおる 小宮 徹	男	41	2004. 4. 1	2004. 4. 1	バイオサイ エンス学科	細胞生物学Ⅱ 細胞工学 細胞科学専門実験Ⅰ 細胞科学専門実験Ⅱ 文献調査・講読 卒業研究 △バイオ機能科学技術特別演習 △バイオ機能科学技術特別研究 計	2.0 2.0	2.0 2.0 2.0	4.0 4.0 2.0	4.0 4.0 2.0	22.0 8.0	18.4 8.0	28.0 0.0 2.0 0.0 2.0 2.0 2.0	24.4 0.0 2.0 0.0 2.4 2.0 8.0 8.0	26.2	有	九州大学大学 院医学系研究 科分子生命科 学系専攻博士 課程修了 博士(理学)
准教授	かわい やすし 河合 靖	男	45	2004. 4. 1	2004. 4. 1	バイオサイ エンス学科	安全学 酵素科学 分子科学専門実験Ⅰ 分子科学専門実験Ⅱ 文献調査・講読 卒業研究 △バイオ情報科学技術特別演習 △バイオ情報科学技術特別研究 計	1.0 1.0	2.0 2.0 2.0	4.0 4.0 2.0	4.0 4.0 2.0	18.4 8.0	18.4 8.0	23.4 0.0 2.0 0.0 2.0 2.0 2.0	24.4 0.0 2.0 0.0 2.0 2.0 8.0	23.9	有	京都大学大学 院理学研究科 博士課程後期 課程退学 博士(理学)
准教授	おおしま かずひこ 大島 一彦	男	42	2004. 4. 1	2004. 4. 1	バイオサイ エンス学科	進化生物学 ゲノム解析学 生命情報科学応用実習Ⅱ 生命情報科学専門実習Ⅰ 生命情報科学専門実習Ⅱ 文献調査・講読 卒業研究 △バイオ情報科学技術特別演習 △バイオ情報科学技術特別研究 計	2.0 2.0	2.0 2.0 2.0	4.0 4.0 2.0	4.0 4.0 2.0	18.7 8.0	20.2 8.0	24.7 0.0 0.0 3.2 2.7 1.0 2.0	26.2 0.0 2.0 0.0 0.0 2.0 2.0 2.0	25.5	有	東京工業大学 大学院生命理 工学研究科博 士後期課程修 了 博士(理学)

2 専任教員個別表

バイオサイエンス学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目								年間平均 毎週授業 時間数	大学院に おける研 究指導担 当資格の 有無	最終学歴及び 学位称号		
							科目名	毎週授業時間数											
								講義		演習		実験・実習 ・実技		計					
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期	
准教授	むかい ゆきお 向 由起夫	男	44	2005. 4. 1	2005. 4. 1	バイオサイ エンス学科	環境微生物学	2.0						2.0	0.0	26.9	有	大阪大学大学 院工学研究科 博士後期課程 醗酵工学専攻 修了 博士（工学）	
							応用微生物学		2.0					0.0	2.0				
							生物・化学応用実験Ⅰ					2.4		2.4	0.0				
							環境科学専門実験Ⅰ					4.0		4.0	0.0				
							環境科学専門実験Ⅱ						2.4	0.0	2.4				
							文献調査・講読			2.0	2.0			2.0	2.0				
							卒業研究						8.0	8.0	8.0				8.0
							△環境分子生物科学特論				1.0				0.0				1.0
							△バイオ環境科学技術特別演習			2.0	2.0				2.0				2.0
							△バイオ環境科学技術特別研究						8.0	8.0	8.0				8.0
計	2.0	3.0	4.0	4.0	22.4	18.4	28.4	25.4											
准教授	たちばな ちひろ 立花 千尋	男	56	2007. 4. 1	2007. 4. 1	バイオサイ エンス学科	英語Ⅰ			2.0				2.0	0.0	4.0	無	神戸大学大学 院総合人間科 学研究科人間 形成科学専攻 博士後期課程 修了 博士（学術）	
							英語Ⅱ				2.0			0.0	2.0				
							英語Ⅲ			2.0				2.0	0.0				
							英語Ⅳ				2.0			0.0	2.0				
							計	0.0	0.0	4.0	4.0	0.0	0.0	4.0	4.0				
准教授	うさみ しょうじ 宇佐美 昭二	男	46	2009. 4. 1	2009. 4. 1	バイオサイ エンス学科	自然科学基礎実験					6.0		6.0	0.0	17.0	無	名古屋大学大 学院理学研究 科博士後期課 程（生物学専 攻）修了 理学博士	
							遺伝子科学基礎実験						12.0	0.0	12.0				
							遺伝子科学応用実験Ⅰ					2.0		2.0	0.0				
							遺伝子科学応用実験Ⅱ						12.0	0.0	12.0				
							遺伝子科学専門実験Ⅰ					2.0		2.0	0.0				
							計	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	24.0	10.0	24.0				

2 専任教員個別表

バイオサイエンス学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目								年間平均毎週授業時間数	大学院における研究指導担当資格の有無	最終学歴及び学位称号			
							科目名	毎週授業時間数												
								講義		演習		実験・実習・実技		計						
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期		
講師	いけうち としたか 池内 俊貴	男	41	2003. 4. 1	2003. 4. 1	バイオサイエンス学科	バイオトピックス 生体分子応答学 生物・化学基礎実験 環境科学専門実験Ⅰ 環境科学専門実験Ⅱ 文献調査・講読 卒業研究 △バイオ環境科学技術特別演習 △バイオ環境科学技術特別研究	2.0	1.0					0.0	1.0	27.7	有	北海道大学大学院水産学研究科水産増殖学専攻博士(水産学)後期課程修了		
						計	2.0	1.0	4.0	4.0	20.0	24.4	26.0	29.4						
講師	はせがわ まこと 長谷川 慎	男	38	2003. 4. 1	2003. 4. 1	バイオサイエンス学科	基礎化学演習 生体高分子解析学 分子科学専門実験Ⅰ 分子科学専門実験Ⅱ 文献調査・講読 卒業研究 △バイオ情報科学技術特別演習 △バイオ情報科学技術特別研究		2.0	2.0		2.4		2.4	0.0	2.4	24.4	有	大阪大学大学院理学研究科有機化学専攻後期課程修了博士(理学)	
						計	0.0	2.0	6.0	4.0	18.4	18.4	24.4	24.4	24.4					
講師	なら あつき 奈良 篤樹	男	36	2004. 4. 1	2004. 4. 1	バイオサイエンス学科	バイオトピックス 基礎化学演習 細胞科学応用実験Ⅰ 細胞科学専門実験Ⅱ 文献調査・講読 卒業研究 △バイオ機能科学技術特別演習 △バイオ機能科学技術特別研究		1.0		2.0		12.0		12.0	0.0	2.4	28.7	有	総合研究大学院大学生命科学研究科分子生物機構論専攻修了博士(理学)
						計	0.0	1.0	6.0	4.0	28.0	18.4	34.0	23.4	28.7					

2 専任教員個別表

バイオサイエンス学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										年間平均毎週授業時間数	大学院における研究指導担当資格の有無	最終学歴及び学位称号
							科目名	毎週授業時間数											
								講義		演習		実験・実習・実技		計					
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
講師	しおにゆう まさふみ 塩生 真史	男	34	2005. 4. 1	2005. 4. 1	バイオサイエンス学科	基礎統計学		2.0						0.0	2.0	25.7	有	名古屋大学大学院理学研究科生命理学専攻博士後期課程修了博士(理学)
							生物情報統計学	2.0						2.0	0.0				
							生命情報科学応用実習Ⅰ					3.2		3.2	0.0				
							生命情報科学応用実習Ⅱ					3.2		0.0	3.2				
							生命情報科学専門実習Ⅱ					1.0		0.0	1.0				
							文献調査・講読		2.0	2.0				2.0	2.0				
							卒業研究					8.0	8.0	8.0	8.0				
							△バイオ情報科学技術特別演習		2.0	2.0				2.0	2.0				
							△バイオ情報科学技術特別研究					8.0	8.0	8.0	8.0				
							計	2.0	2.0	4.0	4.0	19.2	20.2	25.2	26.2				
講師	いまむら あや 今村 綾	女	36	2005. 4. 1	2005. 4. 1	バイオサイエンス学科	基礎化学演習			2.0				2.0	0.0	25.2	有	名古屋大学大学院生命農学研究科生物機構・機能化学専攻博士課程後期課程修了博士(農学)	
							植物分子遺伝学			2.0				0.0	2.0				
							遺伝子科学応用実験Ⅰ					2.0		2.0	0.0				
							遺伝子科学専門実験Ⅰ					2.0		2.0	0.0				
							遺伝子科学専門実験Ⅱ					2.4		0.0	2.4				
							文献調査・講読		2.0	2.0				2.0	2.0				
							卒業研究					8.0	8.0	8.0	8.0				
							△バイオ機能科学技術特別演習		2.0	2.0				2.0	2.0				
							△バイオ機能科学技術特別研究					8.0	8.0	8.0	8.0				
							計	0.0	2.0	6.0	4.0	20.0	18.4	26.0	24.4				

2 専任教員個別表

バイオサイエンス学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目								年間平均 毎週授業 時間数	大学院に おける研 究指導担 当資格の 有無	最終学歴及び 学位称号		
							科目名	毎週授業時間数											
								講義		演習		実験・実習 ・実技		計					
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期	
助教	たかはし 高橋	としひろ 敏宏	男	43	2009. 4. 1	2009. 4. 1	バイオサイ エンス学科	(下記 [大学注1] 参照)										無	京都工芸繊維 大学大学院工 芸科学研究科 博士後期課程 修了 博士 (学術)
							計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
教授	みわ 三輪	まさなお 正直	男	68	2005. 4. 1	2005. 4. 1	アニマルバ イオサイエ ンス学科	病態生化学	2.0						2.0	0.0		有	東京大学医学 部医学科卒業 医学博士
							生命倫理			2.0					0.0	2.0			
							細胞科学専門実験Ⅱ						2.4	0.0	2.4				
							動物管理学			2.0				0.0	2.0				
							動物科学基礎実験						3.6	0.0	3.6				
							文献調査・講読			2.0	2.0			2.0	2.0				
							卒業研究					8.0	8.0	8.0	8.0				
							△生命倫理特論			1.2				0.0	1.2				
							△高次生体機能科学特論			1.0				0.0	1.0				
							△バイオ機能科学技術特別演習				2.0	2.0		2.0	2.0				
							△バイオ機能科学技術特別研究						8.0	8.0	8.0	8.0			
							▲バイオ科学技術特別研究 (演習含む)						14.0	14.0	14.0	14.0			
							計	2.0	6.2	4.0	4.0	30.0	36.0	36.0	46.2	41.1			
教授	やまもと 山本	あきつぐ 章嗣	男	56	2003. 4. 1	2003. 4. 1	アニマルバ イオサイエ ンス学科	組織学	2.0					2.0	0.0			有	京都大学大学 院理学研究科 植物学専攻博 士課程単位取 得満期退学 理学博士
							動物学概論			1.0				0.0	1.0				
							自然科学基礎実験						3.0	3.0	0.0				
							細胞科学基礎実験						6.0	0.0	6.0				
							細胞科学専門実験Ⅱ						2.4	0.0	2.4				
							文献調査・講読			2.0	2.0			2.0	2.0				
							卒業研究					8.0	8.0	8.0	8.0				
							△細胞機能科学特論			1.0				0.0	1.0				
							△バイオ機能科学技術特別演習				2.0	2.0		2.0	2.0				
							△バイオ機能科学技術特別研究						8.0	8.0	8.0	8.0			
							計	2.0	2.0	4.0	4.0	19.0	24.4	25.0	30.4	27.7			

2 専任教員個別表

バイオサイエンス学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目								年間平均 毎週授業 時間数	大学院に おける研 究指導担 当資格の 有無	最終学歴及び 学位称号	
							科目名	毎週授業時間数										
								講義		演習		実験・実習 ・実技		計				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期
准教授	かわら ひろゆき 河内 浩行	男	41	2009. 4. 1	2009. 4. 1	アニマルバ イオサイエ ンス学科	自然科学基礎実験					3.0		3.0	0.0	3.3	有	京都大学大学 院工学研究科 博士後期課程 修了 博士（工学）
							分子科学基礎実験						3.6	0.0	3.6			
							計	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.6	3.0	3.6			
講師	わだ しゅういち 和田 修一	男	38	2005. 10. 1	2005. 10. 1	アニマルバ イオサイエ ンス学科	分子生物学	2.0						2.0	0.0	25.8	有	東京都立大学 大学院理学研 究科生物学 専攻博士課程 修了 博士（理学）
							発生生物学	2.0						2.0	0.0			
							動物学概論		1.0					0.0	1.0			
							自然科学基礎実験					3.0		3.0	0.0			
							遺伝子科学基礎実験						3.6	0.0	3.6			
							文献調査・講読			2.0	2.0			2.0	2.0			
							卒業研究					8.0	8.0	8.0	8.0			
							△バイオ機能科学技術特別演習			2.0	2.0			2.0	2.0			
							△バイオ機能科学技術特別研究					8.0	8.0	8.0	8.0			
							計	4.0	1.0	4.0	4.0	19.0	19.6	27.0	24.6			
教授	いけむら としみち 池村 淑道	男	68	2006. 4. 1	2006. 4. 1	コンピュ ータバイ オサイエ ンス学 科	生命情報科学概論	2.0						2.0	0.0	40.8	有	京都大学理学 研究科物理学 専攻博士課程 修了 理学博士
							生命情報科学応用実習Ⅱ					3.2	0.0	3.2				
							生命情報科学専門実習Ⅰ					2.7		2.7	0.0			
							生命情報科学専門実習Ⅱ						1.0	0.0	1.0			
							データベース実習Ⅰ						3.6	0.0	3.6			
							文献調査・講読			2.0	2.0			2.0	2.0			
							卒業研究					8.0	8.0	8.0	8.0			
							△ゲノム情報科学特論	1.0						1.0	0.0			
							△バイオ情報科学技術特別演習			2.0	2.0			2.0	2.0			
							△バイオ情報科学技術特別研究					8.0	8.0	8.0	8.0			
							▲バイオ科学技術特別研究（演習含む）					14.0	14.0	14.0	14.0			
計	3.0	0.0	4.0	4.0	32.7	37.8	39.7	41.8										

2 専任教員個別表

バイオサイエンス学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目								年間平均毎週授業時間数	大学院における研究指導担当資格の有無	最終学歴及び学位称号	
							科目名	毎週授業時間数										
								講義		演習		実験・実習・実技		計				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期
教授	ながた ひろし 永田 宏	男	49	2009. 4. 1	2009. 4. 1	コンピュータグラフィックス実習 コンピュータ概論		2.0				2.0		2.0	0.0		有	筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了博士(医学)
計							0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
准教授	たかはし けんいち 高橋 健一	男	41	2003. 4. 1	2003. 4. 1	基礎物理学Ⅰ(力学) 化学Ⅱ(物理化学) 生命情報科学応用実習Ⅰ 生命情報科学応用実習Ⅱ 生命情報科学専門実習Ⅱ 文献調査・講読 卒業研究 △バイオ情報科学技術特別演習 △バイオ情報科学技術特別研究	2.0							2.0	0.0		有	名古屋大学大学院理学研究科博士課程後期課程生物学専攻修了博士(理学)
計							2.0	2.0	4.0	4.0	19.2	20.2	25.2	26.2	25.7			
講師	よだ たかお 依田 隆夫	男	36	2003. 4. 1	2003. 4. 1	基礎物理学Ⅰ(力学) 基礎物理学Ⅱ(電磁気学) 生命情報科学応用実習Ⅰ 生命情報科学専門実習Ⅰ 生命情報科学専門実習Ⅱ 文献調査・講読 卒業研究 △バイオ情報科学技術特別演習 △バイオ情報科学技術特別研究	2.0	2.0						2.0	0.0		有	東京大学大学院理学系研究科博士課程修了博士(理学)
計							2.0	2.0	4.0	4.0	21.9	17.0	27.9	23.0	25.5			

2 専任教員個別表

バイオサイエンス学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目								年間平均 毎週授業 時間数	大学院に おける研 究指導担 当資格の 有無	最終学歴及び 学位称号	
							科目名	毎週授業時間数										
								講義		演習		実験・実習 ・実技		計				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期
助教	あべ たかし 阿部 貴志	男	34	2007. 4. 1	2007. 4. 1	コンピュー タバイオサ イエンス学 科	生命情報科学専門実習Ⅰ					2.7		2.7	0.0	無	山形大学大学 院理工学研 究科博士前 期課程電子 情報工学専 攻修了博士 (理学)	
							生命情報科学応用実習Ⅱ						3.2	0.0	3.2			
							生命情報科学専門実習Ⅱ						1.0	0.0	1.0			
							計	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	4.2	2.7	4.2			3.5

- [注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。ただし、大学附置研究所、学部附属研究所、附属病院等の教員については、授業を担当している教員についてのみ記載してください。
- 2 「科目名」欄に記載する担当科目のうち、大学院研究科(博士前期課程)の授業科目には△印を、大学院研究科(博士後期課程)の授業科目には▲印を付してください。
- 3 「授業科目」欄については、 Semester制の場合を例示していますが、通年制の場合、3学期制の場合等は、適宜、欄を修正して記入してください。
- 4 「毎週授業時間数」は、時間割編成上のいわゆるコマではなく、時間数に換算して記入してください(例えば1コマ90分の場合は、2授業時間)。
- 5 1授業科目を複数の教員で担当する場合は、当該授業時数を担当者数で除して毎週授業時間数を算出してください。
- 6 「年間平均毎週授業時間数」欄には、各専任教員ごとの前期と後期の担当授業時間の合計を2で割った年間平均の時間数を記入してください。
- 7 「大学院における研究指導担当資格の有無」欄には、大学が定める基準に基づいて資格の有無を記入してください。

[大学注]

- 1 初年次教育・入学前教育指導を主たる担当としているため、2009年度における担当授業科目はない。

2 専任教員個別表

大学院バイオサイエンス研究科

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目								年間平均毎週授業時間数	大学院における研究指導担当資格の有無	最終学歴及び学位称号	
							科目名	毎週授業時間数										
								講義		演習		実験・実習・実技		計				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期
教授	まつしま さんじ 松島 三兒	男	56	2007. 4. 1	2007. 4. 1	大学院バイオサイエンス研究科	ライフデザイン	2.0						2.0	0.0	有	埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修士(経済学)	
							生物生産学概論	2.0					2.0	0.0				
							バイオビジネス概論		1.0				0.0	1.0				
							△バイオマテリアル産業特論	1.1					1.1	0.0				
							△バイオビジネス戦略論		1.1				0.0	1.1				
計	5.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	2.1	3.6									

- [注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。ただし、大学附置研究所、学部附属研究所、附属病院等の教員については、授業を担当している教員についてのみ記載してください。
- 2 「科目名」欄に記載する担当科目のうち、大学院研究科(博士前期課程)の授業科目には△印を、大学院研究科(博士後期課程)の授業科目には▲印を付してください。
- 3 「授業科目」欄については、 Semester制の場合を例示していますが、通年制の場合、3学期制の場合等は、適宜、欄を修正して記入してください。
- 4 「毎週授業時間数」は、時間割編成上のいわゆるコマではなく、時間数に換算して記入してください(例えば1コマ90分の場合は、2授業時間)。
- 5 1授業科目を複数の教員で担当する場合は、当該授業時数を担当者数で除して毎週授業時間数を算出してください。
- 6 「年間平均毎週授業時間数」欄には、各専任教員ごとの前期と後期の担当授業時間の合計を2で割った年間平均の時間数を記入してください。
- 7 「大学院における研究指導担当資格の有無」欄には、大学が定める基準に基づいて資格の有無を記入してください。

3 専任教員年齢構成

(表21)

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計	
バイオサイ エンス学部	教授	1	3	2	2	4	5	1	0	0	0	18	
		5.6%	16.7%	11.1%	11.1%	22.2%	27.8%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	准教授	0	0	0	1	0	2	6	0	0	0	9	
		0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	1	8	1	0	10
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	80.0%	10.0%	0.0%	100.0%
助教	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	100.0%	
学部計	1	3	2	3	4	7	9	8	8	3	0	40	
	2.5%	7.5%	5.0%	7.5%	10.0%	17.5%	22.5%	20.0%	7.5%	0.0%	0.0%	100.0%	
バイオサイ エンス研究科	教授	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
		0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	准教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
研究科計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
大学合計		1	3	2	4	4	7	9	8	3	0	41	
		2.4%	7.3%	4.9%	9.8%	9.8%	17.1%	22.0%	19.5%	7.3%	0.0%	100.0%	
定年 65 歳													

[注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19)のうち、学部、大学院研究科(及びその他の組織)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。

ただし、教養教育担当者が学部に分属しているものの教養教育は全校共通で行っている場合は、その教員数を学部から除き、教養教育担当者の表を学部準じて別個に作成してください。

2 各欄の下段にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記入してください。

4 専任教員の担当授業時間

バイオサイエンス学部 (39人)

※1 「初年次教育・入学前教育指導主担の助教1名を除く」

(表22)

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	41.1 授業時間	27.7 授業時間	28.7 授業時間	3.5 授業時間	1 授業時間45分
最低	1.0 授業時間	3.3 授業時間	9.2 授業時間	3.5 授業時間	
平均	26.4 授業時間	20.0 授業時間	24.5 授業時間	3.5 授業時間	
責任授業時間数	—	—	—	—	

- [大学注] 1 教授職において授業時間が特に多い教員は、大学院博士課程後期課程の研究指導授業を担当していることが要因である。一方、特に少ない教員は、学内行政職にある教員であることや、2009年度開設学科科目の担当者であることが要因である。
2. 准教授職において授業時間が特に少ない教員は、一般教育担当専任教員であること、更には卒業研究を担当しない実験実習担当専任教員であることが要因である。
3. 講師職において授業時間が特に少ない教員は、卒業研究を担当しない実験実習担当専任教員であることが要因である。
4. 実験・実習を重視するカリキュラムの特徴から責任基準の規程は設定していない。

大学院バイオサイエンス研究科 (1人)

(表22)

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	3.6 授業時間	0	0	0	1 授業時間45分
最低	3.6 授業時間	0	0	0	
平均	3.6 授業時間	0	0	0	
責任授業時間数	—	—	—	—	

4 専任教員の担当授業時間

[注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19)中、学部、大学院研究科(及びその他の組織)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。

なお、表19では、授業を担当していない教員を含めた作表をお願いしていますが、本表においては、担当授業時間数が「0」となる専任教員(例:サバティカル等による)は、本表には含めないでください。その際、表19の人数と本表の人数計が合わない理由を(※1)に付記してください。

(記入例:※1「サバティカル取得中の教授1人を除く」)

- 2 「IV 2 専任教員個別表」(表20)で算出した年間平均毎週授業時間数をもとに、専任教員が当該大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記載してください。
- 3 「備考」欄に1授業時間が何分であるかを記入してください。ここでいう授業時間とはいわゆるコマではないので、1コマ90分の場合は、45分と記入してください。
- 4 専任の教授、准教授、講師、助教の1週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄には「-」を記入してください。
- 5 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合において、何らかの事由がある時は、そのことを欄外に付記してください。
- 6 開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても上表に含めること。

実験・実習を重視するカリキュラムの特徴から責任基準の規程は設定していない。

5 専任教員の給与

(表23)

学部・研究科		専任教員俸給額(年収) (円)			
		教 授	准 教 授	講 師	助 教
バイオサイ エンス学部	最 低	8,056,280	7,585,665	5,893,590	5,202,865
	平 均	11,198,227	8,296,404	7,012,054	5,792,098
バイオサイ エンス研究科	最 低	11,472,965	0	0	0
	平 均	11,472,965	0	0	0

- [注] 1 本「大学基礎データ」作成前年(2008年)1月から12月の1年間を対象として作成してください。
 2 年収は、諸手当を含めた前年の支給総額を記入してください。
 3 原則として「IV 1 全学の教員組織」(表19)に掲げた組織の順に作成してください。
 4 「最低」「平均」の記入にあたっては、上記1の期間途中での採用及び退職者は除いてください。

2 専任教員の教育・研究業績（芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員）

該 当 な し

（表25）

3 専任教員の研究費

(表29)

学部・研究科等	総額 (A)	総額 (B) (除、講座・研究室 等の共同研究費)	専任教員数 (C)	教員1人 当たりの額 ① (A/C)	教員1人 当たりの額 ② (B/C)	備考
バイオサイエンス学部	32,372,120	26,373,334	41	789,564	643,252	
バイオサイエンス研究科	299,582	299,582	1	299,582	299,582	
計	32,671,702	26,672,916	42	777,898	635,069	

- [注] 1 2008年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2008年度の人数（助手を除く）を記入してください。
- 2 研究費総額 (A) には、学科、研究室等ごとに支給される研究費も含めて記入してください。ただし、間接経費（水道光熱費、人件費等）は除いてください。また、競争的な研究費も含めないでください。
- 3 研究費総額 (B) には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費（図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどへの謝金等）を記入してください。
- 4 本表における専任教員数は、(表34)と一致します。

4 専任教員の研究旅費

(表30)

学部・研究科等		国外留学		国内留学		学会等出張旅費		備 考
		長期	短期	長期	短期	国外	国内	
バイオサイ エンス学部	総 額	—	—	—	—	400,671	5,222,284	教授、准教授、講師、助教：20万円 助手：5万円
	支 給 件 数	—	—	—	—	4	237	
バイオサイ エンス研究科	総 額	—	—	—	—	0	125,630	教授、准教授、講師、助教：20万円 助手：5万円
	支 給 件 数	—	—	—	—	0	5	
計	総 額	—	—	—	—	400,671	5,347,914	
	支 給 件 数	—	—	—	—	4	242	

- [注] 1 2008年度の実績をもとに作表してください。
 2 教員研究旅費には、前表「3 専任教員の研究費（実績）」（表29）は含めないでください。
 3 それぞれの研究旅費の支給条件（例えば、受給資格、支給額の上限等）を備考欄に注記してください。
 4 留学の「長期」とは、1年以上のものをいい、1年未満を「短期」とします。

5 学内共同研究費

(表31)

大学・学部・大学院研究科等	総 額	利用件数	備 考
長浜バイオ大学バイオサイエンス学部	5,998,786	6件	
長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科	0	0件	
計	5,998,786	6件	

- [注] 1 2008年度の実績を記入してください。
- 2 ここでいう「学内共同研究費」とは、予算上措置されている研究費で、個人研究・共同研究を問わず、申請に基づき審査を経て交付される競争的な研究費（いわゆる学内科研費）を指します。
- 3 研究費に旅費が含まれている場合、これを除く必要はありません。
- 4 総額の合計は、教員研究費内訳（表32）中の学内共同研究費の合計と一致します。

6 教員研究費内訳

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2006年度		2007年度		2008年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
バイオサイエンス学部	研究費総額	420,808,955	100.0%	325,142,537	100.0%	220,089,120	100.0%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	24,782,068	5.9%	26,032,709	8.0%	26,373,334	12.0%
		学内共同研究費	5,653,063	1.3%	6,024,963	1.9%	5,998,786	2.7%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外	科学研究費補助金	81,410,000	19.3%	77,040,000	23.7%	40,375,000	18.3%
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	220,662,609	52.4%	137,558,150	42.3%	65,637,000	29.8%
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	1,500,000	0.4%	1,700,000	0.5%	0	0.0%
		奨学寄附金	13,200,000	3.1%	4,700,000	1.4%	12,600,000	5.7%
		受託研究費	71,361,215	17.0%	70,646,715	21.7%	64,765,000	29.4%
		共同研究費	2,240,000	0.5%	1,440,000	0.4%	4,340,000	2.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

6 教員研究費内訳

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2006年度		2007年度		2008年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
バイオサイエンス研究科	研究費総額	—	—	265,722	100.0%	299,582	100.0%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	—	—	265,722	100.0%	299,582	100.0%
		学内共同研究費	—	—	0	0.0%	0	0.0%
		その他	—	—	0	0.0%	0	0.0%
	学外	科学研究費補助金	—	—	0	0.0%	0	0.0%
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	—	—	0	0.0%	0	0.0%
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	—	—	0	0.0%	0	0.0%
		奨学寄附金	—	—	0	0.0%	0	0.0%
		受託研究費	—	—	0	0.0%	0	0.0%
		共同研究費	—	—	0	0.0%	0	0.0%
		その他	—	—	0	0.0%	0	0.0%

[注] 1 学内研究費の「その他」欄には、(表29)の(A)+(表30)の計、経常研究費、(表31)でいう学内共同研究費以外に該当するものがある場合は記入してください。

7 科学研究費の採択状況

(表33)

学部・研究科等	科 学 研 究 費								
	2006年度			2007年度			2008年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100
バイオサイエンス学部	37	14	37.8	30	4	13.3	30	4	13.3
バイオサイエンス研究科	—	—	—	0	0	0	1	0	0
計	37	14	37.8	30	4	13.3	31	4	12.9

- [注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。
- 2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないでください。

8 学外からの研究費

(表34)

学部・研究科等	専任 教員数	科学研究費補助金		その他の学外研究費		合 計 (A+B)
		科学研究費補 助金総額 (A)	うちオーバーヘッド の額	その他の学外研究費 総額 (B)	うちオーバーヘッド の額	
バイオサイエンス学部	41	40,375,000	8,325,000	147,342,000	15,313,820	187,717,000
バイオサイエンス研究科	1	0	0	0	0	0
合 計	42	40,375,000	8,325,000	147,342,000	15,313,820	187,717,000

[注] 1 教員が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。

2 2008年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2008年度の人数を記入してください。

3 「その他の学外研究費」には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、共同研究費などが該当します。

4 本表における専任教員数は、2008年度の教員数であり、(表29)及び(表30)と一致します。

9 教員研究室

(表35)

学 部 研究科	室 数			総面積 (㎡)	1室当たりの平均面積 (㎡)		専任教員数 (B)	個室率(%) (A/B*100)	教員1人当 たりの平均面積 (㎡)	備 考
	個室(A)	共 同	計		個 室	共 同				
バイオサイエンス 学部	47	2	49	774.4	15.5	22.8	40	100%	19.4	個室無し：5人 教員研究室はオフィスに 相当。学長室、学部長室 各1を含む。
バイオサイエンス 研究科	1	0	1	12.2	12.2	0	1	100%	12.2	
計	48	2	50	786.6	15.4	22.8	41	100%	19.2	

[注] 1 「室数」「総面積」欄には、学部、大学院研究科等の保有する全ての教員研究室について記入してください。

2 「1室当たりの平均面積」は全ての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は学部、大学院研究科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について算出してください。

3 「個室率」の算出にあたっては、個室数が専任教員数を上回る場合は、原則として100%と記入してください。

4 個室を持たない教員については、「備考」欄にその数を記入してください。

[大学注] 個室使用は講師以上の教員に使用を認めている。

VI 施設・設備等

1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

(表36)

校 地 ・ 校 舎				講義室・演習室等	
校地面積 (m ²)	設置基準上必要 校地面積 (m ²)	校舎面積(m ²)	設置基準上必要 校舎面積 (m ²)	講義室・演習室・ 学生自習室総数	講義室・演習室・ 学生自習室 総面積 (m ²)
50,747	8,400	17,544	9,239	20	2,559.7

- [注] 1 校舎面積に算入できる施設としては、講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書館（書庫、閲覧室、事務室）、管理関係施設（学長室、応接室、事務室（含記録庫）、会議室、受付、守衛室、宿直室、倉庫）、学生集会所、食堂、廊下、便所などが挙げられます。
- 2 講堂を講義室に準じて使用している場合は「講義室・演習室・学生自習室」に含めても結構です。
- 3 複数のキャンパスを設置している場合は、キャンパスごとに作表してください。

2 主要施設の概況

(表36-2)

施設名	用途	建築年	延床面積(m ²)	備考
命江館・命岳館	講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書室、管理関係施設等	平成15(2003)年	12,262.2m ²	
命北館(大学院棟)	演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室等	平成19(2007)年	2,418.9m ²	
命北館(新学科棟)	演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室等	平成21(2009)年	2,397.3m ²	
実験附属施設	実験・実習室、研究室等	平成15(2003)年	465.6m ²	H15.1.23新築(139.7m ²) ⇒H21.2.20(465.6m ²)に増築

[注] 1 「財産目録」記載のうち、教育研究活動に使用されている主要な建物について記載してください。

2 上記、施設の大規模な改築や改修計画がある場合は、備考欄にその旨記入してください。

3 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

(表37)

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積(m ²) (A)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	利用学生 総数 (B)	利用学生1人当 たり面積(m ²) (A/B)	備考
バイ オ 学 部 サ イ エ ン ス	講義室	8	1,581.7	共用	1,537	1,141	1.39	大学院研究科(学生数90)と共用
	セミナー室	7	359.5	共用	215	1,141	0.32	大学院研究科(学生数90)と共用
	情報処理学習施設	3	421.0	専用	219	1,051	0.40	
	語学学習施設	1	137.5	専用	60	1,051	0.13	
	体育館	1	1,309.0	専用				
エ バ ン イ 科 ス オ 研 サ イ 究	講義室	8	1,581.7	共用	1,537	1,141	1.39	学部(学生数1,051)と共用
	セミナー室	7	359.5	共用	215	1,141	0.32	学部(学生数1,051)と共用
	院生談話室	1	60.0	専用	26	90	0.67	

[注] 1 学部、大学院研究科ごとに記載してください。

- 2 当該施設を複数学部、研究科、短期大学等が共用している場合には、当該学部・大学院研究科専用の施設とは別個に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「利用学生総数」欄にも共用する学部、研究科、短期大学等の学生を含めた数値を記入してください。
- 3 キャンパスごとに施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄にキャンパス名を記入してください。
- 4 全学で全ての施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄に「全学共通」と記入してください。
- 5 教養教育のための専用施設がある場合は、学部に準じて記載してください。
- 6 「利用学生1人当たり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記入してください。
- 7 他学部、研究科等と共用で使用している講義室・演習室等の「利用学生1人当たりの面積」の算出に当たっては、当該施設を利用しているすべての学部、研究科の学生数(短期大学と共用している場合は、短期大学の学生数を含む)で総面積を除いて算出してください。

4 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模

(表38)

用途別室名	室数	総面積 (m ²)	収容人員 (総数)	収容人員1人当たりの面積(m ²)	使用学部・研究科等	備考
実験室	10	1,503.6	624	2.4	バイオサイエンス学部	
研究室	44	3,463.8	392	8.8	バイオサイエンス学部 バイオサイエンス研究科	
共通器材室	6	347.9	—	—	バイオサイエンス学部 バイオサイエンス研究科	研究機器使用時に入室使用
NMR室	1	30.0	—	—	バイオサイエンス学部 バイオサイエンス研究科	研究機器使用時に入室使用
電子顕微鏡室	1	17.8	—	—	バイオサイエンス学部 バイオサイエンス研究科	研究機器使用時に入室使用
X線室	1	18.7	—	—	バイオサイエンス学部 バイオサイエンス研究科	研究機器使用時に入室使用
恒温室	3	103.5	—	—	バイオサイエンス学部 バイオサイエンス研究科	研究機器使用時に入室使用
P2実験室	1	40.5	—	—	バイオサイエンス学部 バイオサイエンス研究科	研究機器使用時に入室使用
実験準備室	1	61.6	—	—	バイオサイエンス学部	実験準備時に入室使用
測定室	2	61.7	—	—	バイオサイエンス学部 バイオサイエンス研究科	測定時に入室使用
学生動物実験室	1	53.4	28	1.9	バイオサイエンス学部	
学生マウス室	1	19.0	—	—	バイオサイエンス学部	マウス等使用時に入室使用
情報実習室	3	421.0	219	1.9	バイオサイエンス学部	【再掲】
語学実習室	1	137.5	60	2.3	バイオサイエンス学部	【再掲】
計	76	6,280.0	1,323	4.2		

4 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模

(表38)

- [注] 1 原則として学部・研究科ごとにまとめてください。
- 2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的なわかるような名称を記入してください。
- 3 当該施設を複数の学部・研究科もしくは併設の短期大学と共用している場合は、その学部名等のすべてを「使用学部・研究科等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないでください。
- 4 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入してください。
- 5 教養教育のための施設については「使用学部・研究科等」欄にその旨記入してください。
- 6 実習室としての機能を備えているものの、講義室・演習室等としての利用が中心である施設については、前表「3 学部・研究科ごとの講義室・演習室等の面積・規模」(表37)の講義室・演習室に含めても結構です。その場合は、当該施設の本表での記載に当たっては、「備考」欄に必ず「【再掲】」と記入してください。
- 7 実験・実習室の主な設備・機器の設置とその更新状況については、点検・評価報告書に記載してください。

[大学注] 収容定員1人当たりの面積は、収容定員が記載されている部屋の総面積を収容人数で割ったものを記載した。

4 学部の規模別講義室・演習室使用状況一覧表

(表40)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
バイオサイエンス学部 (前期セメスター)	1 ~ 48	1	103	6	5.8%	セミナー室①
	1 ~ 132	1		7	6.8%	中講義室①
	1 ~ 119	1		6	5.8%	中講義室②
	1 ~ 145	1		11	10.7%	中講義室③
	1 ~ 145	1		10	9.7%	中講義室④
	1 ~ 171	1		5	4.9%	中講義室⑤
	1 ~ 171	1		5	4.9%	中講義室⑥
	1 ~ 294	1		11	10.7%	大講義室1
	1 ~ 360	1		16	15.5%	大講義室2
	1 ~ 73	3		26	25.2%	情報実習室【3】
計		12		103	100.0%	

4 学部の規模別講義室・演習室使用状況一覧表

(表40)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
バイオサイエンス学部 (後期semester)	1 ~ 48	1	89	7	7.9%	セミナー室①
	1 ~ 132	1		5	5.6%	中講義室①
	1 ~ 119	1		6	6.7%	中講義室②
	1 ~ 145	1		8	9.0%	中講義室③
	1 ~ 145	1		9	10.1%	中講義室④
	1 ~ 171	1		5	5.6%	中講義室⑤
	1 ~ 171	1		3	3.4%	中講義室⑥
	1 ~ 294	1		14	15.7%	大講義室1
	1 ~ 360	1		14	15.7%	大講義室2
	1 ~ 73	3		18	20.2%	情報実習室【3】
計		12		89	100.0%	

[注] 1 原則として学部・研究科ごとに作成してください。

2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、開設総授業数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業数を示します。なお、使用率は、(使用度数/開設総授業数)により算出してください。例えば、「英語Ⅰ」を、それぞれ週1回3クラス設置している場合、開設総授業数は「3」になります。

3 semester制を採用している場合で、使用状況が大きく異なる場合については、semesterごとに作表してください。

4 研究科の規模別講義室・演習室使用状況一覧表

(表40)

研究科名	収容人員	使用教室数	開設総授業数(A)	使用度数(B)	使用率 B/A (%)	備考
バイオサイエンス研究科 (前期セメスター)	1 ~ 41	1	32	1	3.1%	セミナー室⑤
	1 ~ 132	1		23	71.9%	中講義室①
	1 ~ 171	1		8	25.0%	中講義室⑤
計		3		32	100.0%	

研究科名	収容人員	使用教室数	開設総授業数(A)	使用度数(B)	使用率 B/A (%)	備考
バイオサイエンス研究科 (後期セメスター)	1 ~ 171	1	8	8	100.0%	中講義室⑤
計		1			8	100.0%

[注] 1 原則として学部・研究科ごとに作成してください。

2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、開設総授業数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業数を示します。なお、使用率は、(使用度数/開設総授業数)により算出してください。例えば、「英語 I」を、それぞれ週1回3クラス設置している場合、開設総授業数は「3」になります。

3 セメスター制を採用している場合で、使用状況が大きく異なる場合については、セメスターごとに作表してください。

VII 図書・電子媒体

1 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況

(表41)

図書館の名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物の種類 (種類)		視聴覚資料 の所蔵数 (点数)	電子ジャー ナルの種類 (種類)	過去3年間の図書受け入れ状況			備 考
	図書の冊数	開架図書の 冊数(内数)	内国書	外国書			2006年度	2007年度	2008年度	
図書情報センター	16,010	16,010	43	13	94	1,269	1,720	947	2,058	
計	16,010	16,010	43	13	94	1,269	1,720	947	2,058	

- [注] 1 雑誌等ですでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。
 2 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めてください。
 3 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。
 4 視聴覚資料の所蔵数については、タイトル数を記載してください。

2 図書館利用状況

(表42)

図書館の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	年間 開館日数	開館時間	年間利用者数(延べ数)			年間貸出冊数			備 考
					2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	
図書情報センター	3 (3)	0 (0)	232	月～金 9:15 ～ 19:00	3,567人	3,831人	3,304人	6,945冊	7,325冊	6,518冊	
				土 休館	(²⁵⁹ 3,308)	(²⁷⁷ 3,554)	(²⁰⁸ 3,096)	(⁵⁴⁴ 6,401)	(⁶⁷⁰ 6,655)	(⁵⁴¹ 5,977)	
				日祭日 休館							
				長期休暇中 9:15 ～ 17:00							

- [注] 1 スタッフ数は、専任、非常勤ごとに、司書の資格を有するものを（ ）内に内数で記入してください。
- 2 年間利用者数・貸出冊数には、一般開放による地域住民等の人数や冊数は含まないで、学生及び教職員の利用状況を記入してください。
- 3 「開館時間」に上記以外の時間帯がある場合は、作表してください。
- 4 「年間利用者数(延べ数)」および「年間貸出冊数」について、教員・職員・学生の別に内訳を把握している場合は、（ ）内に記入してください。

3 学生閲覧室等

(表43)

図書館の名称	学生閲覧室 座席数(A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する座 席数の割合(%) $A/B * 100$	その他の学習室の座 席数 ()	備 考
図書情報センター	148	915	16.2	(0 -)	内訳： 学部840 / 大学院75
計	148	915	16.2	(0 -)	

- [注] 1 「学生収容定員」には、学部学生、大学院学生、専攻科、別科の学生収容定員のほか、当該施設を短期大学と共用している場合には、短大の学生収容定員もこの数に加えてください。
- 2 「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内に記入一般開放による地域住民等は含めないでください。
- 3 「備考」欄には学生収容定員(B)の内訳を、学部、大学院、専攻科、別科、短期大学ごとに記入してください。

Ⅷ 学生生活

1 奨学金給付・貸与状況

(表44)

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数 (A)	在籍学生総数 (B)	在籍学生数に対する比率 A/B*100	支給総額 (C)	1件当たり支給額 C/A
(学部・大学院共通) 長浜バイオ大学サポーター奨学金	学内	給付	8	1062	0.8	1,920,000	240,000
(学部・大学院共通) 日本学生支援機構留学生学習奨励費	学外	給付	5	1062	0.5	3,240,000	648,000
(学部・大学院共通) 日本学生支援機構奨学金	学外	貸与	378	1062	35.6	332,160,000	878,730
(学部) 長浜バイオ大学学内奨学金	学内	給付	9	980	0.9	3,564,000	396,000
(学部) 長浜バイオ大学私費外国人留学生特別奨学金	学内	給付	31	980	3.2	14,844,000	478,839
(学部) 岐阜県選奨学生奨学金	学外	貸与	1	980	0.1	192,000	192,000
(学部) 亀岡市奨学金	学外	給付	1	980	0.1	120,000	120,000
(学部) けやき教育振興財団奨学生入学祝金	学外	給付	1	980	0.1	50,000	50,000
(学部) 平和堂財団外国人留学生奨学金	学外	給付	1	980	0.1	600,000	600,000
(大学院) 長浜バイオ大学大学院学内奨学金	学内	給付	7	82	8.5	2,520,000	360,000
(大学院) 長浜バイオ大学大学院私費外国人留学生特別奨学金	学内	給付	4	82	4.9	1,200,000	300,000
(大学院) ロータリー米山記念奨学会奨学金	学外	給付	1	82	1.2	1,680,000	1,680,000

[注] 1 2008年度実績をもとに作表してください。

2 学部・大学院共通、学部対象、大学院対象の順に作成してください。

3 当該奨学金が学部学生のみを対象とする場合は、「在籍学生総数」欄には学部学生の在籍学生総数を、大学院学生のみを対象とする場合は、大学院の在籍学生総数を記載してください。

4 日本学生支援機構による奨学金も記載してください。

2 学生相談室利用状況

(表45)

施設の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	週当たり 開室日数	年間 開室日数	開室時間	年間相談件数			備 考
						2006年度	2007年度	2008年度	
学生相談室	0	2	2	70	13:00 ~ 18:00	93	182	304	臨床心理士2名

[注] 1 専任、非常勤ごとに、スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員等）を備考欄または欄外に記載してください。

2 年間相談件数は、延べ数を記載してください。

[大学注] 2007年12月より臨床心理士が1名→2名体制となった。

IX 財 務

1-1 消費収支計算書関係比率（法人全体のもの） ※私立大学のみ

(表46)

	比 率	算 式 (*100)	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	% 43.7	% 40.3	% 35.0	% 35.6	% 37.3	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	55.3	48.4	44.0	50.4	50.8	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	74.8	63.5	55.9	53.3	33.8	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	7.6	6.5	6.2	15.5	9.4	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
6	帰 属 収 支 差 額 比 率	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	-26.1	-10.3	2.9	-4.5	19.5	
7	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	126.1	110.3	97.1	104.5	80.5	
8	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	149.4	119.6	125.9	156.2	103.8	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	79.0	83.4	79.7	70.8	73.3	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	7.4	4.2	1.5	1.3	1.0	
11	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.2	3.2	4.4	16.3	17.3	
12	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	15.6	7.8	22.8	33.1	22.5	
13	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	37.2	33.1	28.8	27.3	16.2	

[注] 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（法人全体のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。
 なお、法人として当該大学のみを運営している場合は、本表のみを作成してください。ただし、医・歯学部等で附属病院を併設している場合は、次表（表46-2）も作成してください。

1-2 消費収支計算書関係比率（大学単独のもの） ※私立大学のみ

（表46-2）

	比 率	算 式（*100）	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	% 40.8	% 37.6	% 32.8	% 32.9	% 34.6	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	51.6	44.7	40.8	46.2	47.0	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	75.1	64.1	56.4	53.7	34.0	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	5.5	4.7	3.9	5.2	6.4	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
6	帰 属 収 支 差 額 比 率	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	-21.4	-6.4	6.9	8.2	25.0	
7	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	121.4	106.4	93.1	91.8	75.0	
8	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	135.6	114.2	96.2	135.6	95.6	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	79.2	84.1	80.4	71.3	73.7	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	7.2	4.2	1.5	1.3	1.0	
11	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.2	2.6	3.7	15.9	17.2	
12	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	10.4	6.8	3.2	32.3	21.6	
13	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	38.6	34.6	30.2	31.1	17.4	

[注] 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（大学単独のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 貸借対照表関係比率（私立大学のみ）

（表47）

	比 率	算 式（*100）	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	備 考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	90.3	91.1	83.6	84.4	80.8	
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	9.7	8.9	16.4	15.6	19.2	
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	7.5	8.8	13.0	12.2	14.4	
5	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	92.5	91.2	87.0	87.8	85.1	
6	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	2.4	-1.2	-6.4	-17.7	-16.9	
7	固 定 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	97.6	99.8	96.1	96.1	94.9	
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}+\text{固定負債}}$	97.6	99.8	96.1	96.1	94.4	
9	流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	129.3	102.0	126.0	127.7	133.3	
10	総 負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	7.5	8.8	13.0	12.2	14.9	
11	負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	8.1	9.6	15.0	14.0	17.5	
12	前 受 金 保 有 率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	148.5	109.3	215.8	150.3	245.6	
13	退職給与引当預金率	$\frac{\text{退職給与引当特定預金(資産)}}{\text{退職給与引当金}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
14	基 本 金 比 率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0	100.0	94.8	99.9	94.0	
15	減 価 償 却 比 率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	19.0	28.4	33.6	17.8	18.8	

[注] 1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の貸借対照表を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 「総資金」は負債+基本金+消費収支差額を、「自己資金」は基本金+消費収支差額をあらわします。

2 貸借対照表関係比率（私立大学のみ）

（表47）

	比 率	算 式（*100）	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	備 考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	90.3	91.1	83.6	84.4	80.8	
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	9.7	8.9	16.4	15.6	19.2	
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	7.5	8.8	13.0	12.2	14.4	
5	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	92.5	91.2	87.0	87.8	85.1	
6	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	2.4	-1.2	-6.4	-17.7	-16.9	
7	固 定 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	97.6	99.8	96.1	96.1	94.9	
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}+\text{固定負債}}$	97.6	99.8	96.1	96.1	94.4	
9	流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	129.3	102.0	126.0	127.7	133.3	
10	総 負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	7.5	8.8	13.0	12.2	14.9	
11	負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	8.1	9.6	15.0	14.0	17.5	
12	前 受 金 保 有 率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	148.5	109.3	215.8	150.3	245.6	
13	退職給与引当預金率	$\frac{\text{退職給与引当特定預金（資産）}}{\text{退職給与引当金}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
14	基 本 金 比 率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0	100.0	94.8	99.9	94.0	
15	減 価 償 却 比 率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価格（図書を除く）}}$	19.0	28.4	33.6	17.8	18.8	

[注] 1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の貸借対照表を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 「総資金」は負債+基本金+消費収支差額を、「自己資金」は基本金+消費収支差額をあらわします。

X 情報公開・説明責任

1 財政公開状況（私立大学のみ）

（表48）

公開の対象者	公開している 財務諸表及び その解説	公開の方法							
		自己点検・ 評価報告書	学内広報誌・紙	大学機関誌・紙	財務状況に 関する報告書	学内LAN	ホームページ (We b等)	その他 ()	開示請求があれ ば対応する
教職員	資金収支計算書	—	—	—	—	—	○	—	—
	消費収支計算書	—	—	—	—	—	○	—	—
	貸借対照表	—	—	—	—	—	○	—	—
	財務状況に関する解説	—	—	—	—	—	○	—	—
	その他（事業報告書）	—	—	—	—	—	○	—	—
	その他（監事監査報告書）	—	—	—	—	—	○	—	—
	その他（財産目録（概要））	—	—	—	—	—	○	—	—
在学生	資金収支計算書	—	—	—	—	—	○	—	—
	消費収支計算書	—	—	—	—	—	○	—	—
	貸借対照表	—	—	—	—	—	○	—	—
	財務状況に関する解説	—	—	—	—	—	○	—	—
	その他（事業報告書）	—	—	—	—	—	○	—	—
	その他（監事監査報告書）	—	—	—	—	—	○	—	—
	その他（財産目録（概要））	—	—	—	—	—	○	—	—
卒業生	資金収支計算書	—	—	—	—	—	○	—	—
	消費収支計算書	—	—	—	—	—	○	—	—
	貸借対照表	—	—	—	—	—	○	—	—
	財務状況に関する解説	—	—	—	—	—	○	—	—
	その他（事業報告書）	—	—	—	—	—	○	—	—
	その他（監事監査報告書）	—	—	—	—	—	○	—	—
	その他（財産目録（概要））	—	—	—	—	—	○	—	—
保護者	資金収支計算書	—	—	—	—	—	○	—	—
	消費収支計算書	—	—	—	—	—	○	—	—
	貸借対照表	—	—	—	—	—	○	—	—
	財務状況に関する解説	—	—	—	—	—	○	—	—
	その他（事業報告書）	—	—	—	—	—	○	—	—
	その他（監事監査報告書）	—	—	—	—	—	○	—	—
	その他（財産目録（概要））	—	—	—	—	—	○	—	—

X 情報公開・説明責任

1 財政公開状況（私立大学のみ）

（表48）

公開の対象者	公開している 財務諸表及び その解説	公開の方法							
		自己点検・ 評価報告書	学内広報誌・紙	大学機関誌・紙	財務状況に 関する報告書	学内LAN	ホームページ (We b等)	その他 ()	開示請求があれ ば対応する
社会・一般 (不特定多数)	資金収支計算書	—	—	—	—	—	○	—	—
	消費収支計算書	—	—	—	—	—	○	—	—
	貸借対照表	—	—	—	—	—	○	—	—
	財務状況に関する解説	—	—	—	—	—	○	—	—
	その他（事業報告書）	—	—	—	—	—	○	—	—
	その他（監事監査報告書）	—	—	—	—	—	○	—	—
その他 ()	その他（財産目録（概要））	—	—	—	—	—	○	—	—
	資金収支計算書	—	—	—	—	—	—	—	—
	消費収支計算書	—	—	—	—	—	—	—	—
	貸借対照表	—	—	—	—	—	—	—	—
	財務状況に関する解説	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他（ ）	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他（ ）	—	—	—	—	—	—	—	—
その他（ ）	—	—	—	—	—	—	—	—	

- [注] 1 2008年度決算について2009年度中に公開した対象・方法をすべて記入してください。
- 2 「公開している財務諸表及びその解説」欄のうち、「財務状況に関する解説」については、事業内容と関連させた財務状況の解説が付されているかについて、該当する「公開方法」欄へ○を付してください。
- 3 各対象者への財政公開を行っていないが開示請求があれば対応するという場合には、「開示請求があれば対応する」欄に○を付してください。
- 4 「公開の対象者」および「公開の方法」欄の「その他」には、カッコ内に具体的な名称を記入してください。また、「公開している財務諸表及びその解説」欄の「その他」には、監事監査報告書、財産目録、事業報告書等の具体名を記入してください。
- 5 2009年度決算の公開にあたり変更が予定されている場合には、欄外に注記してください。なお、その場合、公開した時点で該当する資料を提出してください。

2 財政公開状況（公立大学法人のみ）

（表48-2）

該 当 な し